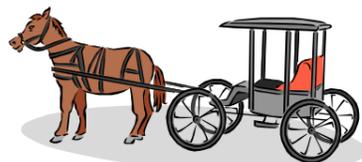


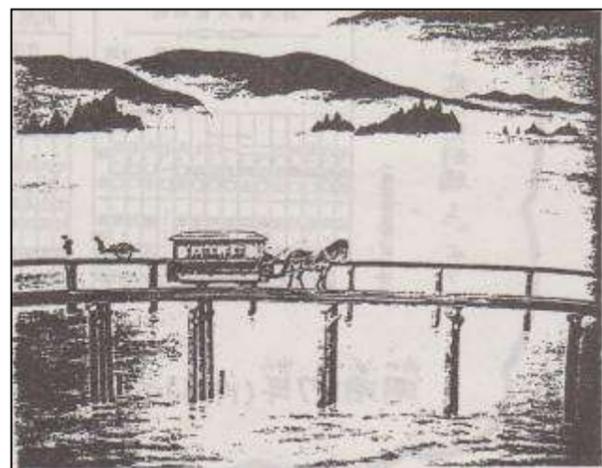
どんなところ？ぼくのまち

No. 31 入間市の鉄道(1)

ばしやてつどう 馬車鉄道



いるまがわ わた のりあいばしやてつどう ふうけいが
「入間川を渡る乗合馬車鉄道の風景画」
め さいたまひやくねん
『目でみる埼玉百年』より



いるましりつとしょかん
—入間市立図書館—
きょうりょく いるまはくぶつかん
協力・入間市博物館



ばしやてつどう 【馬車鉄道ができたころ、埼玉県の西部地域では…】



せいぶてつどう
いまの「西武鉄道」です！

めいじ ねん ねん
明治27年～28年(1894～1895)、このあたりで はじめての鉄道「川越鉄道」が開業。

かわこえ いるまがわ さやまし ところざわ くにぶんじかん じょうききかんしゃ はし
川越—入間川(現狭山市)—所沢—国分寺間に、蒸気機関車が走る。

てつどう つか えんせん とくさんひん はこ
鉄道をを使うと沿線の特産品をいちどにたくさん運ぶことができるので、鉄道の沿線の人々は鉄道の
かいぎょう じもと さんぎょう きたい
開業によって地元の産業がもっとさかんになることを期待しました。また、地域の人々が東京の都心
へでかけるときにも鉄道をつかうようになりました。

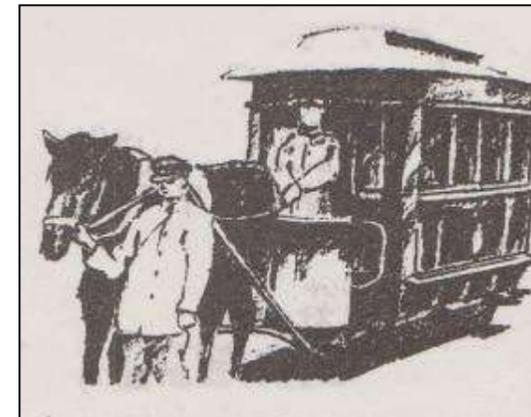
そのため今度は、鉄道の駅と人々の住んでいるところや特産品の生産地をむすぶための交通手段が
ひつよう
必要となってきました。そのような役割をはたしていたのが「馬車鉄道」です。

ばしやてつどう 馬車鉄道とは？

いっとうだ うま どうろ
一頭立ての馬が、道路にしいたレールの上の客車を
ひくもので、14～15人ほどの乗客を乗せること
ができました。

なが きょり てつどう たい ばしやてつどう ちか
長い距離をむすぶ鉄道に対して、馬車鉄道は近くの
まち むら きんきょりゆそう こうつうきかん
町や村をむすぶ近距離輸送の交通機関です。

てつどう し おお ひよう
鉄道を敷くためにはとても多くの費用がかかりました
が、馬車鉄道はすでにある道路を利用するため費用も
すく かくち
少なくてすむので各地でつくられました。



きょうどしりょうけんきゅうかいへん
「いるまし」郷土指導資料研究会編
いるましきょういくいいんかい かん
入間市教育委員会 刊より

いるまし ちいき うんこう ばしやてつどう 入間市の地域で運行していた馬車鉄道

いるまばしやてつどうかぶしきがいしゃ ◎入間馬車鉄道株式会社

- めいじ ねん (1899) 設立
- めいじ ねん (1901) 営業開始—たいしょう ねん (1917) 廃止
- しほんきん まんえん ほんきにん にん
資本金6万円 発起人18人
- ほんしゃ いるまがわまち
本社は入間川町におかれた。

げんざい せいゆうさやましえきまえてん
現在、「西友狭山市駅前店」
があるところ

狭山市立博物館には
入間馬車鉄道の
実物大の模型も
あります。



うんこうくかん 運行区間	いるまがわまち (現狭山市) —みずとみむら (現狭山市) —もとかじむら (現入間市) —かじむら (現飯能市) —せいめいむら (現飯能市) —はんのうし (現飯能市) • 川越鉄道入間川駅(現在の狭山市駅)を起点に、入間川を渡り川の北がわをとおって飯能町までをむすぶ。(約10キロメートル) • 1日 15～17往復 • 所要時間は片道1時間15分(のち、停車場がふえたため、1時間20分となる。)
じょうしゃちん 乗車賃	いるまがわまち はんのうまちかん せん 入間川町～飯能町間が15銭(のち、20銭)
じょうきやくすう 乗客数	へいきん にん 平均7～8人

- 明治33年(1900) 発足
- 明治34年(1901) 営業開始 — 大正6年(1917) 廃止
- 資本金7万円 発起人9人
(金子村 3人 入間川町・豊岡町 各1人 青梅町・霞村 各2人)
- 本社は扇町屋3丁目におかれていた。

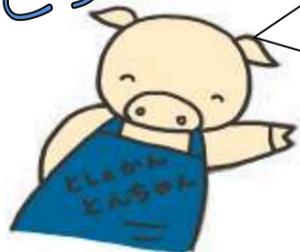
運行 区間	入間川町(現狭山市) — 豊岡町(現入間市) — 東金子村(現入間市) — 金子村(現入間市) — 霞村(現青梅市) — 青梅町(現青梅市)
乗車賃	入間川町～青梅町間が30銭
乗客数	平均6～7人
会社の概要	<p>従業員</p> <ul style="list-style-type: none"> 馭者…7人 車掌…5人 馬丁…3人 線路夫…1人 <p>車輜</p> <ul style="list-style-type: none"> 客車 10台 貨車 10台 馬 13頭
運んだもの	<p>〔埼玉県西部の物産〕</p> <p>米などの穀類・しょうゆ・みそ・酒・衣料・日用品など。</p> <p>〔青梅・奥多摩の林産物〕</p> <p>木炭・薪・杉皮・木材など。</p> <p>〔青梅の御嶽神社へおまいりの人々〕</p>

入間川町から河原町を通り、町屋坂を上り、町屋通りを抜けて、東金子、金子、青梅へと向かいました。



馬車鉄道の通る道すじには、レールが敷かれていたんだよ！

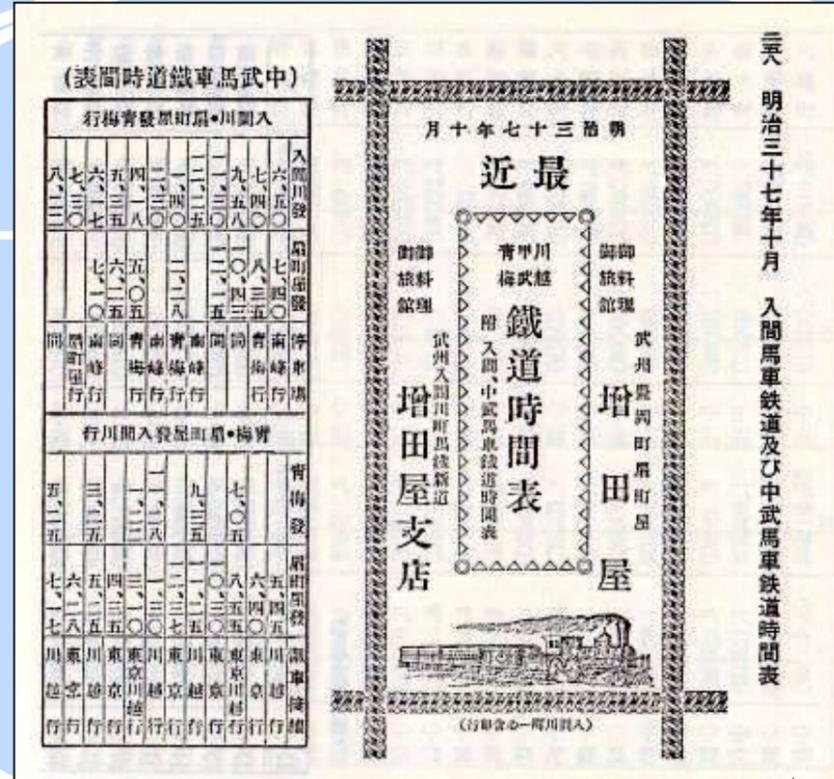
さんこうまでに！



明治30年代の物価(「値段史年表」より)

- あんぱん 1銭
- うな重 30銭
- そば 2銭
- ジャムぱん 2銭
- カレーライス 5～7銭
- 理髪料金(とこやさん) 10～15銭
- 上野動物園の入園料 4銭

〔入間市史・近代史料編1〕より



明治37年(1904)の、中武馬車鉄道の時刻表

川越鉄道の列車の時刻にあわせてあったようです。



しかし、馬車鉄道は

- ①貨物がはこべない
 - ②速度がおそい
 - ③大正4年(1915)には武蔵野鉄道(飯能—池袋間)が開通して、鉄道を利用した方が便利になった。
- といった状況のなかで経営不振が続き、相次いで廃止されました。

※そのようななかで、1902年に会社を設立した「川越馬車鉄道」は、翌年電力会社と合併することで、電車を走らせる鉄道会社として営業を始めました。

〔これが「川越電気鉄道」で、このあと37号でまたくわしく説明します。〕

<参考にした資料>

「町村長物語」(P.42・46)
入間市文化財研究同好会 編・刊

「市報いるま」No.321 (S.53.6/15号)
「入間市史」
(民俗文化財編)(通史編)(近代史料編1)
「狭山市史」(通史編2)
『中武馬車鉄道路線跡を訪ねて』中田 瓦 著
「多摩のあゆみ」
Vol.70 たましん地域文化財団 刊より

「目で見ると読む埼玉百年」埼玉県
「埼玉の鉄道」老川慶喜著 埼玉新聞社
「値段史年表 明治・大正・昭和」
週刊朝日編 朝日新聞社



どんなところ？ぼくのまち

No. 32 入間市の鉄道 (2)

— 西武鉄道 (武蔵野鉄道) —



いるましりつとしょかん
—入間市立図書館—
きょうりょく いるまはくぶつかん
協力・入間市博物館

たいしやう ねん げんざい いるましない
大正4年(1915)、現在の入間市内をとる



はじめての鉄道『武蔵野鉄道』が開通する。



《武蔵野鉄道の歴史》(のちの「西武鉄道」)

めいじ ねん がつ にち
◎明治44年(1911)2月17日

むさしのけいべんてつどうかぶしきがいしゃ せつりつ しんせい
「武蔵野軽便鉄道株式会社」の設立が申請される。

- 資本金75万円 (のち100万円に変更)
- 本社は東京・池袋 (大正8年の時点では、すでに飯能町へ本社がうつされていたと思われる。)

めいじ ねん がつ にち てつどういん めんきよ
◎明治44年(1911)10月18日、鉄道院より免許を得る。

めいじ ねん がつ か かいしゃ せつりつ
◎明治45年(1912)5月7日、会社が設立される。
(このとき、会社の名前を「武蔵野鉄道」とあらためました。)

たいしやう ねん いけぶくろ はんのうかん
◎大正2年(1913) 池袋—飯能間
やく きろめーとる てつどうこうじ はじ
(約44.2 km) の鉄道工事が始まる。



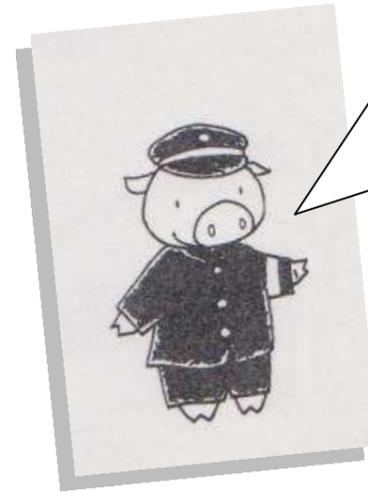
たいしやう ねん いけぶくろ はんのうかん てつどう かいつう
◎大正4年(1915)4月 池袋—飯能間に鉄道が開通。

がつ にち はんのうまち かいつうしき
4月18日 飯能町で開通式。

がつ か とよおかまち いるまし えき えきこうない かいつうしゆくがしき
4月24日 豊岡町 (現入間市) 駅の駅構内で、開通祝賀式が

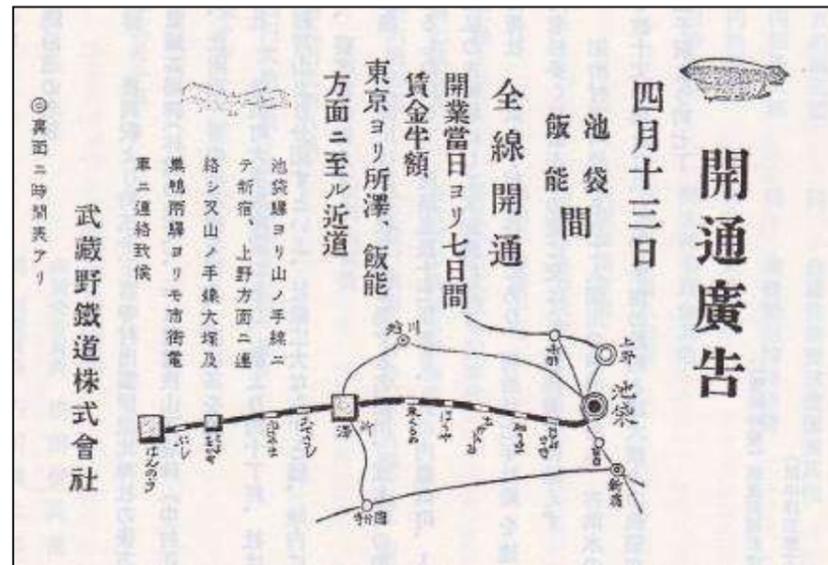
おこなわれた。

おうぎまちや あたごじんじや
扇町屋の愛宕神社のおまつり
の日とかさなり、たいへんな
ひとでにぎわったという。

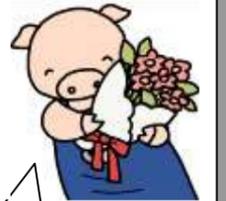


そのころのようすは…

- 池袋—飯能間を1日8往復。列車は、客車と貨車が
いっしょに連結されていました。
- 開通したときの駅は12駅。埼玉県内には、「所沢」・
「小手指 (現西所沢)」・「元狭山 (現狭山ヶ丘)」・
「豊岡町 (現入間市)」・「仏子」・「飯能」の駅がつくら
れました。
- 豊岡町駅から池袋駅まで約1時間40分かかりました。



さいしよの
いっしゅうかん しょうしゃちん
一週間は乗車賃
がはんぶん
いいんだって!



かいつう
開通したときの
こうこく
広告だよ!
のってみたいなあ。

たなかようぞうけぶんしょ
(田中洋三家文書)

いるましし
「入間市史」
きんだいしりょうへん
(近代資料編1)

より

かいつう えき ぜんぶ えき
開通したときの駅 (全部で12駅)

いけぶくろ し ひがし
池袋～ながさき～ねりま～志やくじぬ～ほうや～東くるめ～

ところさわ ちと まち
所沢～こてさし～元さやま～とよをか町～ぶし～はんのう

と、かいてあります。

◎大正14年(1925) この年までに

[池袋-飯能]間が全線、電化される。

◎大正15年(1926)

4月1日「武蔵藤沢」駅が開設される。

4月3日「元加治」駅が開設される。



武蔵野鉄道デハ320形電車
1926年(大正15年)新製

◎昭和4年(1929) [飯能-吾野]間が開通。

また現在の【狭山線】も支線として開通。

[西所沢-西武球場前]間

◎昭和17年(1942) 武蔵藤沢駅の北側に線路をこえる陸橋「建武橋」がつくられる。

線路と道路(463号)が交差するところが、交通上危険になってきたため、
現在のような立体交差となりました。

大正四年四月 武蔵野鉄道列車発着時刻表

下		上		駅名
飯能	豊岡	池袋	池袋	飯能
10:00	10:10	10:00	10:10	10:00
10:10	10:20	10:10	10:20	10:10
10:20	10:30	10:20	10:30	10:20
10:30	10:40	10:30	10:40	10:30
10:40	10:50	10:40	10:50	10:40
10:50	11:00	10:50	11:00	10:50
11:00	11:10	11:00	11:10	11:00
11:10	11:20	11:10	11:20	11:10
11:20	11:30	11:20	11:30	11:20
11:30	11:40	11:30	11:40	11:30
11:40	11:50	11:40	11:50	11:40
11:50	12:00	11:50	12:00	11:50
12:00	12:10	12:00	12:10	12:00
12:10	12:20	12:10	12:20	12:10
12:20	12:30	12:20	12:30	12:20
12:30	12:40	12:30	12:40	12:30
12:40	12:50	12:40	12:50	12:40
12:50	13:00	12:50	13:00	12:50
13:00	13:10	13:00	13:10	13:00
13:10	13:20	13:10	13:20	13:10
13:20	13:30	13:20	13:30	13:20
13:30	13:40	13:30	13:40	13:30
13:40	13:50	13:40	13:50	13:40
13:50	14:00	13:50	14:00	13:50
14:00	14:10	14:00	14:10	14:00
14:10	14:20	14:10	14:20	14:10
14:20	14:30	14:20	14:30	14:20
14:30	14:40	14:30	14:40	14:30
14:40	14:50	14:40	14:50	14:40
14:50	15:00	14:50	15:00	14:50
15:00	15:10	15:00	15:10	15:00
15:10	15:20	15:10	15:20	15:10
15:20	15:30	15:20	15:30	15:20
15:30	15:40	15:30	15:40	15:30
15:40	15:50	15:40	15:50	15:40
15:50	16:00	15:50	16:00	15:50
16:00	16:10	16:00	16:10	16:00
16:10	16:20	16:10	16:20	16:10
16:20	16:30	16:20	16:30	16:20
16:30	16:40	16:30	16:40	16:30
16:40	16:50	16:40	16:50	16:40
16:50	17:00	16:50	17:00	16:50
17:00	17:10	17:00	17:10	17:00
17:10	17:20	17:10	17:20	17:10
17:20	17:30	17:20	17:30	17:20
17:30	17:40	17:30	17:40	17:30
17:40	17:50	17:40	17:50	17:40
17:50	18:00	17:50	18:00	17:50
18:00	18:10	18:00	18:10	18:00
18:10	18:20	18:10	18:20	18:10
18:20	18:30	18:20	18:30	18:20
18:30	18:40	18:30	18:40	18:30
18:40	18:50	18:40	18:50	18:40
18:50	19:00	18:50	19:00	18:50
19:00	19:10	19:00	19:10	19:00
19:10	19:20	19:10	19:20	19:10
19:20	19:30	19:20	19:30	19:20
19:30	19:40	19:30	19:40	19:30
19:40	19:50	19:40	19:50	19:40
19:50	20:00	19:50	20:00	19:50
20:00	20:10	20:00	20:10	20:00
20:10	20:20	20:10	20:20	20:10
20:20	20:30	20:20	20:30	20:20
20:30	20:40	20:30	20:40	20:30
20:40	20:50	20:40	20:50	20:40
20:50	21:00	20:50	21:00	20:50
21:00	21:10	21:00	21:10	21:00
21:10	21:20	21:10	21:20	21:10
21:20	21:30	21:20	21:30	21:20
21:30	21:40	21:30	21:40	21:30
21:40	21:50	21:40	21:50	21:40
21:50	22:00	21:50	22:00	21:50
22:00	22:10	22:00	22:10	22:00
22:10	22:20	22:10	22:20	22:10
22:20	22:30	22:20	22:30	22:20
22:30	22:40	22:30	22:40	22:30
22:40	22:50	22:40	22:50	22:40
22:50	23:00	22:50	23:00	22:50
23:00	23:10	23:00	23:10	23:00
23:10	23:20	23:10	23:20	23:10
23:20	23:30	23:20	23:30	23:20
23:30	23:40	23:30	23:40	23:30
23:40	23:50	23:40	23:50	23:40
23:50	24:00	23:50	24:00	23:50

大正四年四月 武蔵野鉄道列車発着時刻表

開通したころの時刻表です。
2じすぎのでんしゃにのりおくれたら、つぎは5じまでないのだ!



- ※石神井は 石神井公園
- 小手指は 西所沢
- 元狭山は 狭山ヶ丘
- 豊岡町は 入間市

「入間市史」(近代史料編1)より

◎昭和20年(1945) 9月22日

会社の合併によって、会社の名前が「西武農業鉄道」となる。

「武蔵野鉄道」と「西武鉄道(旧)」と「食糧増産」の3社が合併して、『西武農業鉄道』

◎昭和21年(1946) 11月15日

会社の名前を「西武鉄道」とあらためる。

◎昭和42年(1967) 4月1日

前年(昭和41年)の入間市市制施行により、「豊岡町」駅の名前が「入間市」駅とあらためられる。

新しい駅名「入間市駅」が4月1日からスタートし、大正年間から親しまれてきた「豊岡町駅」に終止符をうちました。ちなみに、当駅を利用する乗降客は現在1万4,000人にもものぼり、日増に増加の一途をたどっているとのこと。これをさばく駅員は21名。



◎昭和44年(1969) 10月14日

【秩父線】([吾野-西武秩父]間)が開通。

◎平成元年(1989) 4月1日

秩父鉄道へののりいれはじまる。

◎平成10年(1998) 3月26日

営団地下鉄有楽町線との相互のりいれがはじまり、[飯能-新木場]間に直通電車が運転されるようになる。

◎平成25年(2013) 3月16日

地下鉄副都心線・東急東横線・横浜高速みなとみらい線との相互のりいれ開始。横浜(元町・中華街駅)まで直通運転。

ふえてるね!

入間市内の各駅の乗車人数のうつつりかわり(入間市史埼玉県統計年鑑より)

	昭和23年度(1948)	昭和50年度(1975)	平成9年度(1997)
武蔵藤沢駅	153,696人	2,497,156人	4,218,419人
入間市(豊岡町)駅	1,002,710人	3,615,16人	6,620,725人
仏子駅	375,11人	1,276,100人	3,166,318人
元加治駅	245,05人	591,530人	1,254,307人
金子駅(八高線)	142,96人	261,514人	639,386人

(数字は、1年間にその駅で乗った人の合計)

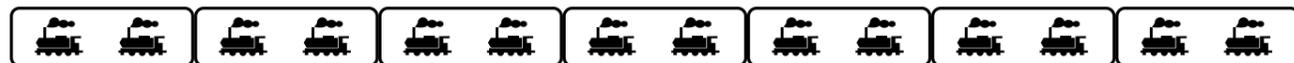
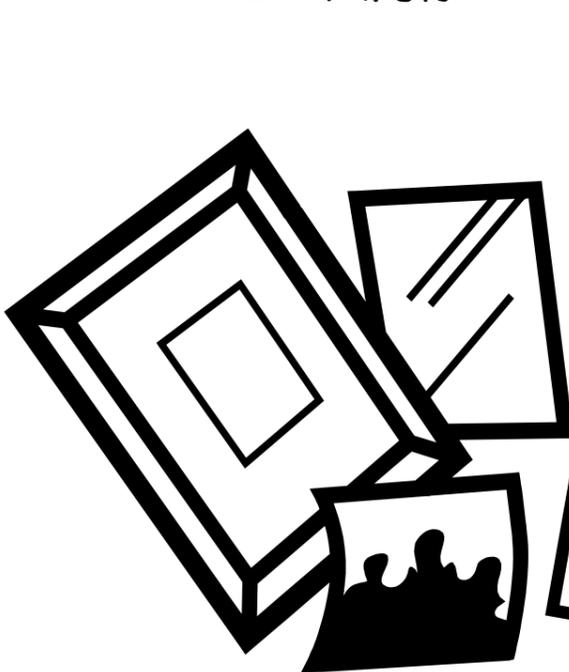
どんなところ？ぼくのまち

No. 33 入間市の鉄道(3)

はちこうせん
JR八高線



いるましりつとしょかん
—入間市立図書館—
きょうりょく いるましはくぶつかん
協力・入間市博物館



《八高線ができるまで》

めいじ ねん 1906 (明治39年)の「鉄道国有法」によって、運送に使われる鉄道は国有化されましたが、埼玉県の場合、それらの鉄道は、県の東部を通過していました。そのため県の西部の地域でも、産業の発達とともに物資をはこぶための鉄道をもとめる声があがってきました。

とくに当時の主要輸出品だった生糸の産地の上 州高崎(群馬県)と貿易港横浜の玄関口だった八王子をむすぶ「八高線」の開通は、沿線の人たちから期待をもたれていました。



たいしょう ねん (1923)
◎大正12年(1923) 9月

だい ていこくぎかい はちこうせん ねんけいそくじぎょう けつてい
第46帝国議会で「八高線」が10か年継続事業として決定される。
かんとうだいしんさい がつ かいし おお
関東大震災がおり、そのために工事の開始が大きくおくれる。

たいしょう ねん (1926)
◎大正15年(1926)

せんろ よていち そくりょう はじ
線路の予定地の測量が始まる。

しょうわ ねん (1931)
◎昭和6年(1931) 11月20日

はちこうせん けんせつこうじ きた
八高線の建設工事は、北と南の両がわからはじめられたので「八高北線」「八高南線」というよび方もありました。

かねこ えき かいせつ がつ か かいぎょう
「金子」駅が開設される。(12月10日、開業)
はちこうせん けんせつ かねこむら かねこむら なか ていしゃば
八高線の建設がきまると、金子村では「金子村の中に停車場をつくってほしい」という内容の陳情書を大正15年(1926)に出して、少しでも金子村の集落に近いところに駅をつくってもらおうとはたらきかけていました。

◎ 11 12月10日

はちこうなんせん はちおうじ ひがしはんのう かん かいつう
「八高南線」として[八王子—東飯能]間が開通する。

かいつうとうじつ はんのうまち はちおうじし しゅくがきょうじ
開通当日、飯能町と八王子市で祝賀行事もおこなわれました。

しょうわ ねん (1932)
◎昭和7年(1932)

かねこむら じょうききかんしゃ ひ こ かさい ほじょ
金子村では、蒸気機関車からの「火の粉」による火災をふせぐために補助金を出すことにしました。

(「火の粉」のとぶおそれのある線路ぞいの家にたいして、屋根をわらぶきからもえにくい材質のものにふきかえるか、ちがうところへひっこしをするための費用として。)

しょうわ ねん (1934)
◎昭和9年(1934)

とし はちこうせん ぜんせんかいつう
この年までに八高線が全線開通する。



はちこうせん いるまがわ
八高線の入間川にかかる鉄橋の建設工事
はんのうしあす しょうわ ねん
(飯能市阿須、昭和5年)

しょうわ ねん (1947) 2月25日
はちこうせん こまがわえき だっせんじこ ししゃ
八高線、高麗川駅のちかくで脱線事故があり、死者184人、負傷者497人という大事故となりました。
じ こげんば げんざい いれいひ
事故現場には、現在、慰霊碑がたてられています。

「目でみる埼玉百年」より

しょうわ ねん (1970) がつ か
 ◎昭和45年(1970)10月4日
 はちこうせんしょうききかんしゃディー さいご うんこう きねんうんてん
 八高線蒸気機関車D51の最後の運行(記念運転)

しょうわ ねん (1982)
 ◎昭和57年(1982)
 はちこうせんかいつう しゅうねんきねんぎょうじ かねこえき
 八高線開通50周年記念行事が金子駅でおこなわれる。

へいせい ねん (1996) がつ にち
 ◎平成8年(1996) 3月16日
 こまがわ はちおうじ かん でんか
 [高麗川—八王子]間が電化される。



「市報いるま」No.623
 H.3(1991)8/1号

No.728 H.8(1996)3/1号

「市報いるま」

3月16日(土)から実施されるダイヤ改正により、高麗川駅(日高市)から八王子駅(八王子市)までの間が電化になります。これにより、高麗川駅から八王子駅までの所要時間は10分短縮され、39分で運行されます。3月16日(土)午後2時10分から金子駅で記念式典等を開催します。

新型電車(209系)

「JR八高線」
 「高麗川駅—八王子駅」
 間が電化になります

No.32・33で参考にした本

いるましし
 「入間市史」
 つうしへん きんだいしりょうへん 1 きんだい 2 げんだいしりょうへん ぶんそくぶんかざいへん
 (通史編・近代史料編Ⅰ・近代Ⅱ現代史料編・民俗文化財編)

いるまし ぶんかざい
 「入間市の文化財」

ちようそんちようものがたり
 「町村長物語」
 いるましぶんかざいけんきゅうどうこうかい へん かん
 入間市文化財研究同好会 編・刊

てつどう
 「さいたまの鉄道」

さいたまけんりつはくぶつかん へん しゅつばんかい かん
 埼玉県立博物館 編 / さきたま出版会 刊

しほう
 「市報いるま」No. 623 H. 3 (1991) 8/1号

No. 728 H. 8 (1996) 3/1号

ひがしはんのうえき おんこちしん
 「東飯能駅 温故知新」

ひがしはんのうえき ねん しんかこういんかい へん かん
 東飯能駅記念誌刊行委員会 編・刊

はちこうせんものがたり むこうやまけんじゅ むこうやまけんいちろう ちょ かん
 「八高線物語」 向山賢寿・向山賢一郎 著・刊

め さいたまひゃくねん さいたまけん へん かん
 「目でみる埼玉百年」 埼玉県 編・刊

せいぶてつどう
 ウィキペディア「西武鉄道」



おまけ

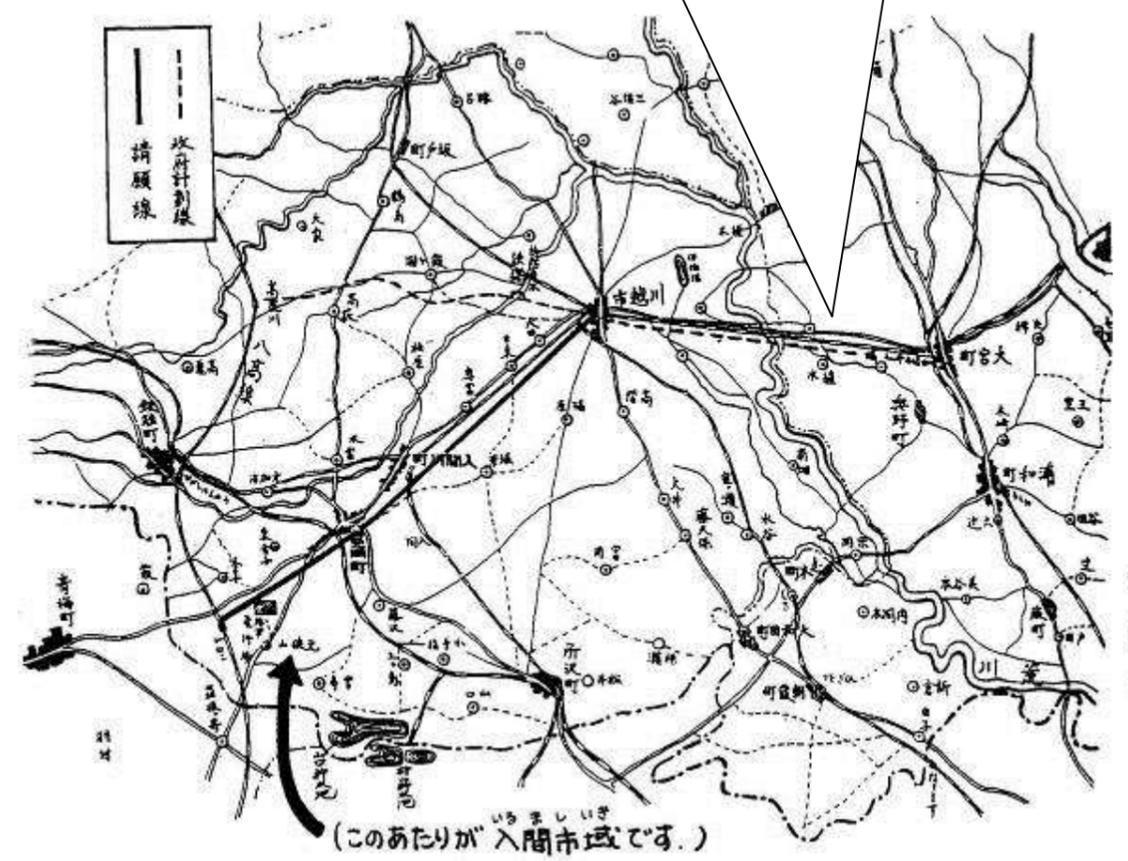
かわこえせん けんせつ いるま まち むら
 JR川越線の建設がきまったとき 入間の町や村では…

しょうわ ねん (1933) だいいていこくぎかい かわこえせん けんせつ
 昭和8年(1933)、第65帝国議会で「川越線」の建設がきまると、
 かわこえ にし まち むら にわかてつどうゆうち うご
 川越より西の町や村では にわかてつどう誘致の動きがたかまりました。

げんざい いるましいき まち むら ちか ちようそん
 現在の入間市域の町や村も、近くの町村といっしょになって
 かわこえ いるまがわまち げんさやまし とよおかまち ひがしかねこむら かねこむら
 [川越—入間川町(現狭山市)—豊岡町—東金子村—金子村]というルートで
 てつどう ゆうち ちんじょうしよ だ
 鉄道を誘致しようと陳情書を出しました。

けんとう そくりよう よてい けっか げんざい
 検討のための測量もおこなわれる予定でしたが、結果は現在のとおり、
 かわこえ まとば かすみがせき たかはぎ こまがわ しょうわ ねん かんせい
 [川越—的場—霞ヶ関—高萩—高麗川]ルートで昭和15年(1940)に完成しました。

ちようそんごうどう だ ちんじょうしよ
 が17町村合同で出した陳情書のルートです。



(このあたりが「入間市域」です。)

かたち
 形としてはのりつてなくとも
 いるまなことがあったんだね…

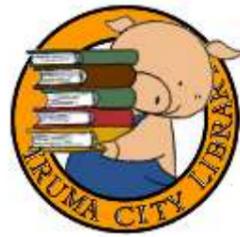


いるましし つうしへん
 (「入間市史 通史編」より)

どんなところ？ぼくのまち

No. 34 身近な鉄道 今・昔 (1)

さいたまけんない ジェイアールせん
—— 埼玉県内の J R 線 ——



いるましりつとしょかん
— 入間市立図書館 —
きょうりよく いるましはくぶつかん
協力・入間市博物館

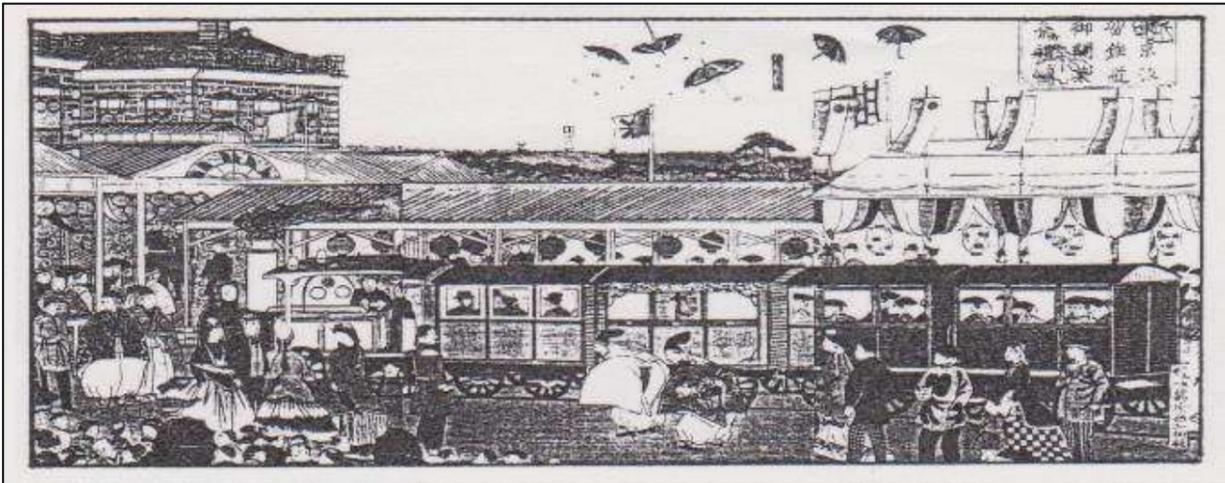


日本で最初の鉄道は？

とうじ じょうききかんしゃ おかじょうき よ
当時、蒸気機関車は「陸蒸気」と呼ばれていたよ！

めいじ ねん がつ にち たいようれき がつ か
◎明治5年(1872)9月12日(太陽暦10月14日)

しんばし よこはまかん にほん さいしよ てつどう かいぎょう
新橋—横浜間に、日本で最初の鉄道が開業。



↑ てつどうかいつうしき
鉄道開通式の様子
とうきょうしおどめてつどうかいぎょうさいれいす
「東京汐留鉄道御開業祭礼図」
「しらべ学習に役立つ日本の歴史⑪」
にほん きんだいか こみねしよてん
日本の近代化をしらべる」小峰書店より

※34・35・36・37・38号の路線図
に出ている駅名は主なものだけを載せてい
ます。

それから約130年。
鉄道は、僕たちの暮らし
に欠かせないものにな
っています。



さいたまけん さいしよ てつどう 埼玉県で最初の鉄道は？



にほんさいしよ てつどう
日本最初の鉄道から
わずか11年後のことだよ！

めいじ ねん にほんてつどうがいしゃ
◎明治16年(1883)「日本鉄道会社」が
つくれた上野—熊谷(翌年、高崎まで延長)間
(「第1区線」、 JR高崎線)が最初。

この会社は続いて「第2区線」(東北本線、
愛称【宇都宮線】も、つくりました。

◎この2つの路線は明治39年(1906)の
てつどうこくゆうほう くに か いご
「鉄道国有法」により、国に買いとられ、以後
こくゆうてつどう
「国有鉄道」となりました。

『日本鉄道会社』とは？

いわくらともみ かぞく ちゅうしん
岩倉具視ら、華族が中心となって
つくれた会社。
この路線は、政府が計画していたもの
の、資金不足で中断していたもので
した。

①第1区線(高崎線)

めいじ ねん ねん 7 月、くまがや
明治16年(1883)7月、熊谷
まで仮営業を始める。片道2時間
24分かかり、1日2往復しました。

めいじ ねん ねん 5 月、
明治17年(1884)5月、
高崎まで延長され開業。
6月25日、上野駅で開業式。

明治16年10月 12月

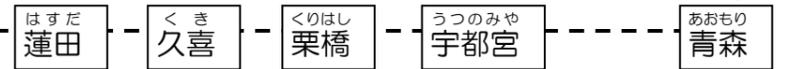


②第2区線(東北本線)

めいじ ねん ねん 3 月、
明治18年(1885)3月、第2区線の分岐駅と
してつくられました。

めいじ ねん 7 月、
明治18年7月、
宇都宮まで開業

せいかん れんらくせん
青函連絡船で
ほっかいどう れんらく
北海道へ連絡



たかさきせん もくてき ひと きいと おも
高崎線がひかれた目的の一つは、生糸(そのころの主な
ゆいゆつひん せいさんち じょうしゅう いま ぐんまけん どうきょう よこはま
輸出品)の生産地、上州(今の群馬県)と東京・横浜
を結ぶことでした。上州には、明治5年に操業開始
した富岡製糸場(現在は世界遺産)がありました。

その後、少しずつ
延長され、明治24
年9月、青森まで
全線開通。



③京浜東北線(別名「省線電車」)

しょうわ ねん ねん 1932 年、あかばね おおみやかん てんか
昭和7年(1932年)赤羽—大宮間が電化され、「京浜東北線」大宮まで延長運転。

④八高線

昭和6年(1931年)

7月 倉賀野-児玉

12月 八王子-東飯能

昭和8年(1933年)

1月 児玉-寄居

4月 東飯能-越生

昭和9年(1934年)

3月 越生-小川町

10月 小川町-寄居

倉賀野-高崎間は、高崎線と合流します。

それぞれ開通

間がそれぞれ延長される。

が完成して全線開通

⑤川越線

昭和15年(1940年)

大宮-川越-高麗川間が開通

※川越線は、他の路線と結ぶことで、東京の外側の環状線の一部となります。

東京の中心部を通らずに、主要鉄道(東海道線、中央線、東北本線など)を

つなく輸送用の路線として、戦時体制のもと、国を防衛する政策でつくられました。

⑥武蔵野線

昭和48年(1973年)

府中本町-新松戸間が開通。

昭和53年(1978年)

新松戸-西船橋まで開通。

昭和63年に京葉線に乗り入れて、平成2年から東京駅まで行きます。

※武蔵野線は、初めは首都圏の貨物輸送を主な目的としてつくられた路線でした。そのため、沿線

には貨物ターミナルなどがつくられています。しかし今では、旅客輸送も増えてきています。

⑦東北新幹線

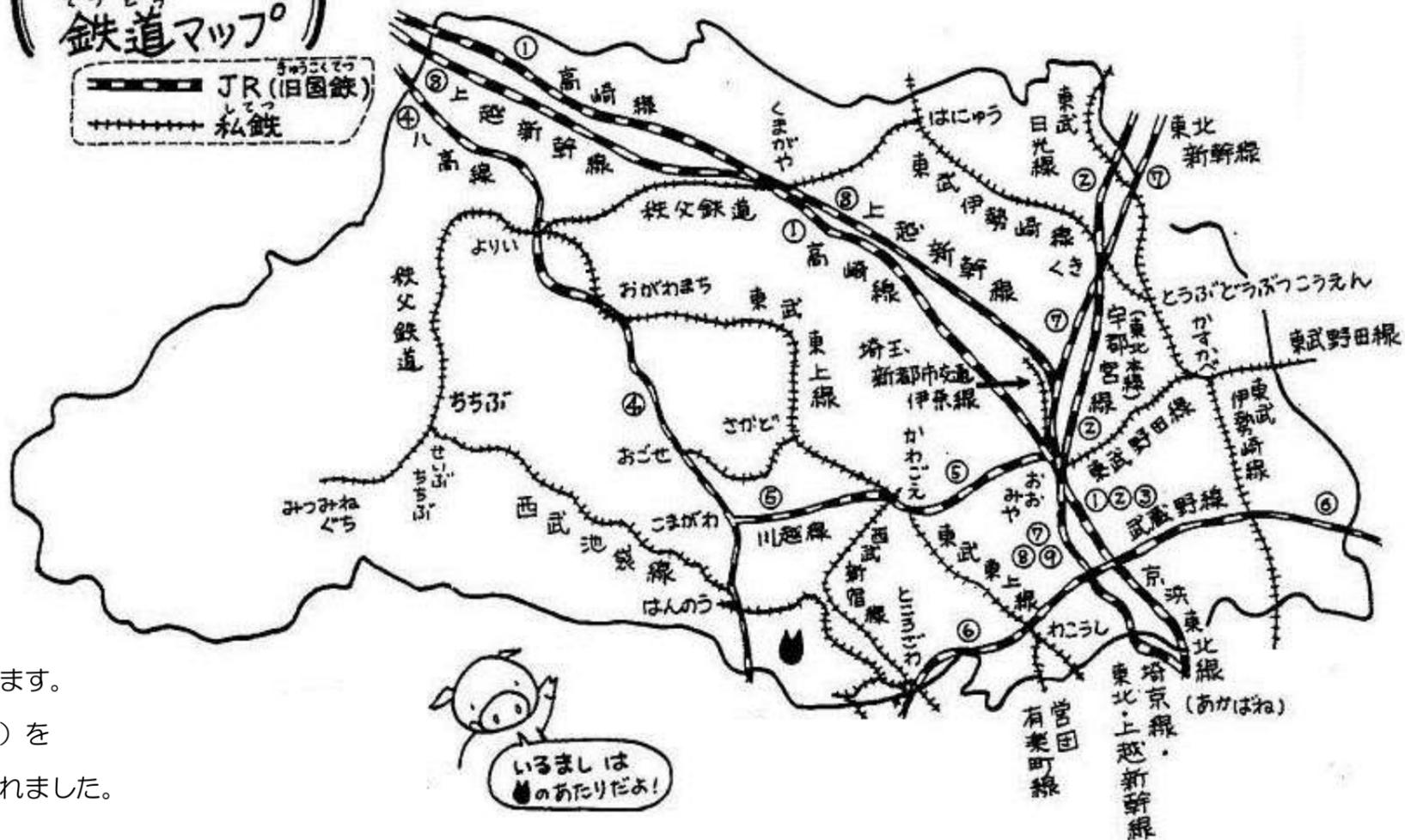
昭和57年(1982年)

大宮-盛岡間に、東北新幹線が開業

2002年に八戸、2010年に新青森まで延長されました。

さいたまの鉄道マップ

JR(旧国鉄) 私鉄



⑧上越新幹線

昭和57年(1982年) 大宮-新潟間に、上越新幹線が開業

昭和60年(1985年) 上野-大宮間が開通(上野駅が始発となる)

平成3年(1991年) 上野-東京間が開通(東京駅が始発となる)

その後、山形新幹線(1992年)、秋田新幹線(1997年)、北陸新幹線(2015年)が

それぞれ開業しています。

⑨埼京線

※東北、上越新幹線の開業に伴い、つくられました。

昭和60年 池袋-大宮間が開業

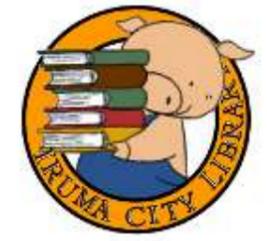
昭和61年 池袋-新宿間が開業

その後、りんかい線、川越線との直通運転を行っています。

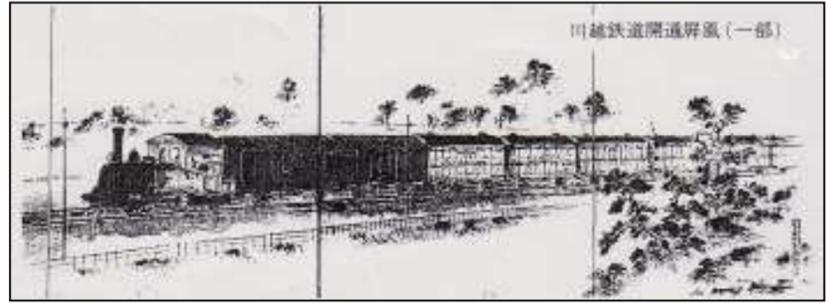
どんなところ？ぼくのまち

No. 35 みちかな鉄道 いま・むかし(2)

西武鉄道(上)



いるましつとしょかん
—入間市立図書館—
きょうりょく いるまはくぶつかん
協力・入間市博物館



ところざわしし げかん
("所沢市史 下巻"より)



せいぶてつどう
◎西武鉄道
げんざい せいぶてつどう さいたまけん とうきょうと せいぶ かくち しょうてつどう がっぺい ねんげつ
現在の西武鉄道は、埼玉県や東京都の西部の、各地にあった小鉄道が合併して、ながい年月の
あいだにいまのような路線になりました。

西武鉄道の全路線

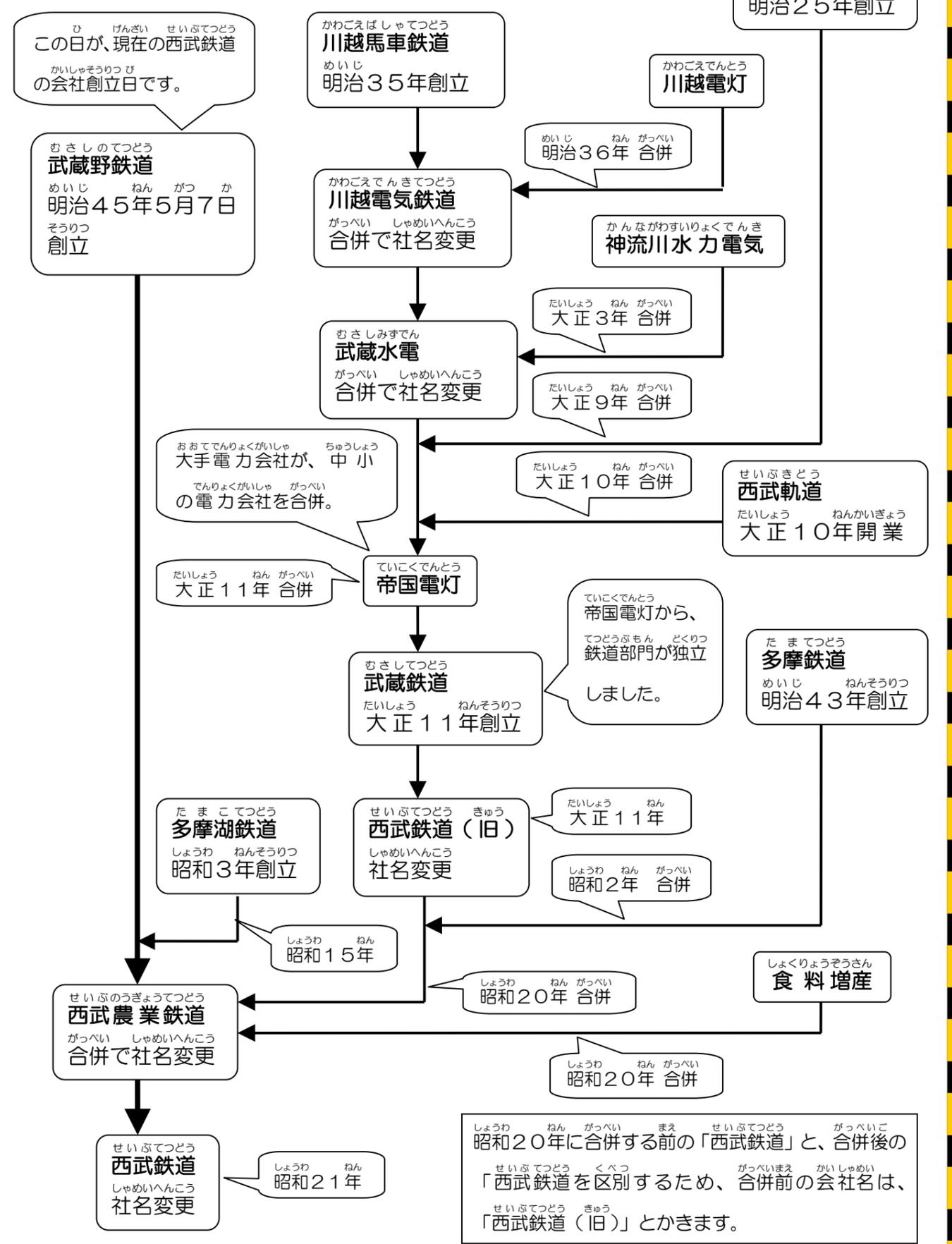
- いけぶくろせん せいぶちちぶせん せいぶゆらくちょうせん としません さやません
池袋線・西武秩父線・西武有楽町線・豊島線・狭山線
- しんじゅくせん せいぶえんせん はいじせん たまこせん こくぶんじせん たまがわせん
新宿線・西武園線・拝島線・多摩湖線・国分寺線・多摩川線
- やまぐちせん あひなせん
山口線・安比奈線

- おおみやせん しょうわ ねん はいし
・大宮線(昭和16年、廃止されました。)
- おぎくぼせん しょうわ ねん とうきょうと
・荻窪線(昭和26年、東京都へゆすりわたしました。)

るせん なか がっぺい れきし
路線の中に、合併の歴史が
のこされているよ!

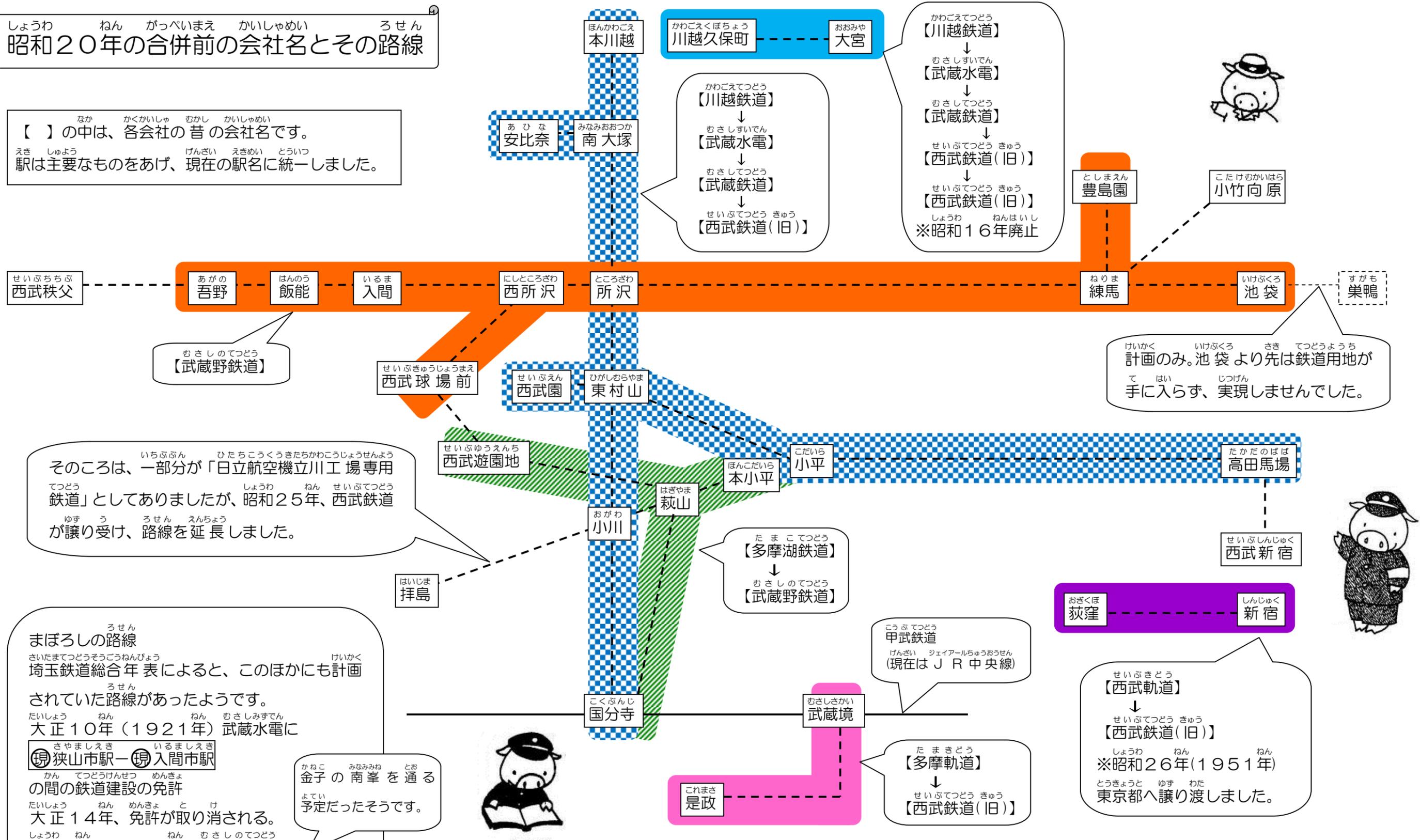
がっぺい かいしゃ なまえ
合併のたびに、会社の名前もかわっていましたが、
さいごの合併は昭和20年(1945)の、「武蔵野鉄道」・「西武鉄道(旧)」・「食糧増産」の3会社
の合併でした。これにより、「西武農業鉄道」という会社になり、翌年「西武鉄道」と会社の名前を
あらためて、いまにいたっています。

西武鉄道の合併の歴史



しょうわ ねん がっぺいまえ かいしゃめい ろせん
昭和20年の合併前の会社名とその路線

【 】の中は、各会社の昔の会社名です。
 駅は主要なものをあげ、現在の駅名に統一しました。



けいかく いけぶくろ さき てつどうようち
 計画のみ。池袋より先は鉄道用地が
 て はい じつげん
 手に入らず、実現しませんでした。

そのころは、一部分が「日立航空機立川工場専用
 鉄道」としてありましたが、昭和25年、西武鉄道
 が譲り受け、路線を延長しました。

まぼろしの路線
 さいたまてつどうそうごうねんびょう
 埼玉鉄道総合年表によると、このほかにも計画
 されていた路線があったようです。
 大正10年(1921年)武蔵水電に
 狭山市駅 - 入間市駅
 の間の鉄道建設の免許
 大正14年、免許が取り消される。
 昭和4年(1929年)武蔵野鉄道に
 西所沢駅 - 青梅間の鉄道建設の免許
 不況により計画は中止になり、昭和16年(1941年)に、免許を還す。

かごこ みなみみね とお
 金子の南峰を通る
 予定だったそうです。

参考にした資料 35, 36, 37号

「日本の私鉄⑫西武」保育社	「鉄道ピクトリアル特集西武鉄道1992年5月臨時増刊号」	「JR私鉄全線各駅停車別巻①」小学館
「西武池袋線歴史散歩」鷹書房	「西武新宿線歴史散歩」鷹書房	「J R 私鉄全線各駅停車別巻①」小学館
「全線全駅鉄道の旅別巻①」小学館	「鉄道考古学を歩く」J T B	「日本の私鉄 西武鉄道」毎日新聞社



どんなところ？ぼくのまち

No. 36 身近な鉄道 今・昔 (3)

西武鉄道 (中)

いるましりつとしょかん
—入間市立図書館—

きょうりょく いるまはくぶつかん
協力・入間市博物館



武蔵野鉄道

はじ けいかく ぶようけいべんてつどう かいしりょう ぶさしのけいべんてつどう
(最初の計画では「武陽軽便鉄道」、すぐに改称され、「武蔵野軽便鉄道」、
それから「武蔵野鉄道」となりました。)

ところざわしし げかん
(「所沢市史」下巻より)

- めいじ ねん がつ かそうりつ
• 明治45年(1912)5月7日創立。
- たいしりょう ねん かいぎりょう
• 大正4年(1915)開業。
- ほんしや とうきりょう はんのうまち
• 本社は東京、のち、飯能町

しょうわ ねん た かいしや
昭和20年(1945)、他の会社との
がっぺい せいぶのうきりょうてつどう よく ねん
合併により、「西武農業鉄道」(翌21年
せいふてつどう あらた
「西武鉄道」と改める)となりました。

とうきりょうと いけぶくろ はじ よてい すがも さいたまけんはんのう むす ろせん
東京都の池袋(最初の予定では巣鴨)と埼玉県飯能を結ぶ路線。
てつどうえんせん ひとびと とうきりょう て りりょう はんのうふきん もくざい
鉄道沿線の人々が東京へ出かけるときの利用や、飯能付近の木材・
こくろい ひりりょう かもつゆそう りりょう み こ じもと ゆうりょくしゃ
穀類・肥料などの貨物輸送の利用を見込んで、地元の有力者たちが
ちゅうしん
中心となってつくられた会社。
ほつきにん かすやぎそうし いしかわいくたろうし なまえ
発起人には、粕谷義三氏、石川幾太郎氏などの名前があります。



しほう
「市報いるま」No.403
しょうわ ねん がつごう
昭和57年1月号より

みぎ ひょう み
右ページの表を見てみてください。



第5-123表 武蔵野鉄道発起人の引受株数

引受株数	氏名	住所	引受株数	氏名	住所
2000	平沼専蔵	横浜市本町	100	榎本常三郎	東京府北豊島郡大泉村
1500	小能五郎	入間郡飯能町	100	井上太平	入間郡飯能町
1200	高橋源太郎	東京府北多摩郡保谷村	100	双木貞之助	入間郡飯能町
500	金子忠五郎	入間郡飯能町	100	佐野作次郎	入間郡飯能町
500	鴨下栄蔵	東京府北多摩郡石神井村	100	大河原浅吉	入間郡飯能町
400	平沼伊兵衛	入間郡飯能町	100	中里治	入間郡飯能町
300	向山小平次	入間郡所沢町	100	落合勝蔵	入間郡飯能町
300	瀬下秀夫	横浜市青木町	100	双木八郎	入間郡飯能町
300	平沼源一郎	秩父郡名栗村	100	平岡善蔵	入間郡元加治村
300	比留間清十郎	東京府北多摩郡東村山村	100	大野藤三	入間郡東吾野村
200	佐々田憲	島根県那賀郡木田村	100	石田重次郎	秩父郡吾野村
200	内野五郎三	東京市日本橋区	100	新井八郎	入間郡高麗村
200	重野謙次郎	東京市麹町区	100	佐野弥吉	入間郡原市場村
200	山口嘉三	東京市京橋区	100	加藤幹一	秩父郡名栗村
200	篠五郎作	東京府北豊島郡中新井村	100	原田東太郎	秩父郡名栗村
200	新井清平	入間郡飯能町	100	浅見竹八	秩父郡名栗村
200	柏木代八	秩父郡名栗村	100	吉田昭十郎	秩父郡名栗村
200	横山良平	東京府北豊島郡石神井村	100	宇田川徳左衛門	東京府豊多摩郡落合村
200	山田力蔵	入間郡所沢町	100	内堀綾三郎	東京府北豊島郡大泉村
200	岩沢庄三九	入間郡加治村	100	高田新五郎	東京府北多摩郡保谷村
200	粕谷義三	入間郡豊岡町	100	村野善太郎	東京府北多摩郡清瀬村
200	繁田武平	入間郡豊岡町	100	三上市左衛門	東京府北多摩郡清瀬村
200	石川幾太郎	入間郡豊岡町	100	町田金太郎	東京府北多摩郡清瀬村
150	栗原錦三	東京府北豊島郡石神井村	100	市川丑蔵	東京府北多摩郡清瀬村
150	豊田銀右衛門	東京府北豊島郡石神井村	100	小沢綾助	入間郡所沢町
150	高橋作之助	東京府北多摩郡保谷村	100	小沢久助	入間郡所沢町
125	増田藤助	東京府北豊島郡上練馬村	100	阪本喜一	東京市京橋区
100	青木正太郎	東京市日本橋区			
100	村野常右衛門	横浜市青木町			

注 近代史料II-586より作成
株主数は全部で140人を数える

ところざわしし げかん
「所沢市史」下巻より

ひきうけかぶすう いちばんおお ひらぬませんそうし はんのうしゅつしん しょだいしゃちりょう
引受株数が一番多い、平沼専蔵氏は、飯能出身で、初代社長となりました。

ぶしえき ちとかじ あいだ いるまがわ せいぶ
仏子駅一元加治の間の入間川をわたる西武
てつどう てつきりょうわき じりょうりゅうがわ たいしりょう ねん
鉄道の鉄橋脇(上流側)に、大正4年(1
915)武蔵野鉄道が開通したときにつくられ
てつきりょう のこ
た鉄橋が残されています。



さいたまけん きんだい か いさん さいたまけんきりょういく いんかいかん
「埼玉県の近代化遺産」埼玉県教育委員会刊より

ふるいはし しょうわ ねん せんろ
この古い橋は、昭和44年に、線路の
ふくせんか ともな げんざい はし か
複線化に伴い、現在の橋が架けられ
はいし しょうききく ぶぶん
ると廃止されました。橋脚の部分
じゅうこう じりょうりゅうがわ
は重厚なレンガづくりで、上流側
さき とが みす なが た
は、先を尖らせて水の流れに耐えら
れるように工夫されています。

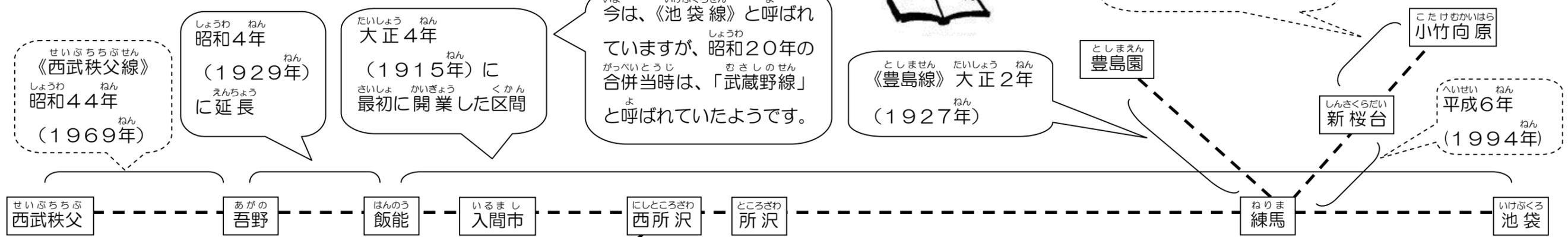


路線の歴史

で囲まれた部分は、昭和20年の合併後にできた路線です。
参考にした資料は、35、38号にまとめて載せます。



《西武有楽町線》
昭和58年(1983年)



今は、《池袋線》と呼ばれていますが、昭和20年の合併当時は、「武蔵野線」と呼ばれていたようです。

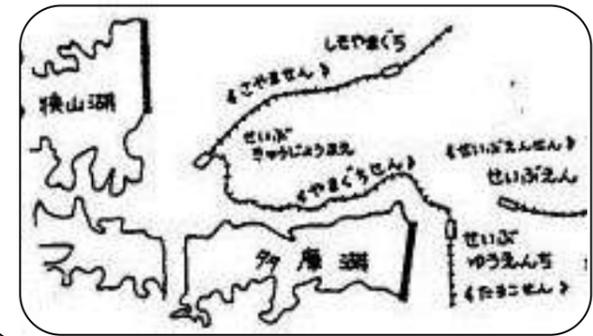
《豊島線》大正2年(1927年)

武蔵野鉄道は、東京周辺の私鉄としては、早い時期に電化されました。
※これにより、蒸気機関車に代わって、電車が運転されるようになります。
大正11年(1922年) 池袋-所沢間が電化
大正14年(1925年) 池袋-飯能間が全線電化

西武球場前
西武遊園地

《山口線》
昭和25年(1950年)に、「おとぎ電車」として遊園地周辺を走っていた路線を、昭和27年(1952年)、地方鉄道《山口線》としました。
その後、蒸気機関車なども走りましたが、昭和60年(1985年)新交通システムとなりました。

狭山湖、多摩湖の回りに3つの路線が集まっているわけは？
昔は《狭山線》は、「武蔵野鉄道」
《多摩湖線》は、「多摩湖鉄道」
《西武園線》は、「西武鉄道(旧)」
というように、別の会社でした。
1920~30年代に、湖ができると、それぞれの会社が湖への観光客を運ぶ路線を独自につくりましたが、合併したため、このようになりました。



駅・あれこれ

入間市駅
昭和42年までは、「豊岡町」駅でした。

狭山ヶ丘駅
大正4年までは、「元狭山」駅
昭和8年までは「三ヶ島村」駅でした。

展覧山駅(今は廃止)
昭和6年~開業
昭和20年休止
昭和29年廃止

西所沢駅
大正7年までは、「小手指」駅でした。
今の「小手指」駅は、昭和45年(1970年)に新しくできた駅です。

狭山市駅
昭和54年までは、入間川駅でした。

東飯能駅と高麗駅の間にありました。

西武球場前駅
昭和4年~8年 「村山公園」駅
昭和8年~16年 「村山貯水池際」駅
昭和16年~19年 「村山」駅
昭和19年~26年 廃止
昭和26年~54年 「狭山湖」駅
昭和54年~現在 「西武球場前」駅
と、駅の名前が何回も変わりました。

黒須駅(貨物駅)
大正6年開業
昭和28年廃止
豊岡町駅(入間市駅)と仏子駅の間に取りました。

東吾野駅
昭和8年までは「虎秀」駅

昭和16年の駅名変更は、「貯水池」という軍事上重要な施設の存在を隠す国防上の理由で行われました。

西武遊園地駅
昭和11年 「村山貯水池駅」
昭和16年 「狭山公園前」
昭和26年 「多摩湖」
昭和54年 「西武遊園地」

上り屋敷駅(今は廃止)
池袋駅-椎名町駅間
昭和4年開業
昭和20年休止





どんなところ？ぼくのまち

No. 37 身近な鉄道 今・昔 (4)

西武鉄道 (下)

いるましりつとしょかん
— 入間市立図書館 —
きょうりやく いるまはくぶつかん
協力・入間市博物館

【川越馬車鉄道】

しょうわ ねん (昭和16年 (1941)) に廃止された《大宮線》



大正時代の川越鉄道を走っていた蒸気機関車

めいじ ねん (明治35年 (1902)) 創立、1906年開業。
ほんしゃ かわごえ くぼまち お
本社は川越、久保町に置かれた。

↓ (明治36年、他の会社と合併して)

かわごえでんきてつどう かいしゃめい あらた
川越電気鉄道と会社名を改める。

↓ (大正3年、他の会社と合併して)

むさしすいでん かいしゃめい あらた
武蔵水電と会社名を改める。

↓

たいしょう ねん (大正11年 (1922)) 「帝国電灯」という会社に合併され、鉄道にかかわる業務は武蔵鉄道
(1922年、創立) に譲り渡される。(同じ年のうちに、会社の名前を西武鉄道(旧)と改
める。

おおみやせん
《大宮線》

ろせん
《ほかの路線》

しょうわ ねん (昭和15年 (1940))、国鉄川越線(高麗
がわ かわごえ おおみや かいとう ろせん きょうごう
川—川越—大宮) が開通し、路線が競合し
たため、翌16年廃止された。

しょうわ ねん (昭和20年 (1945)) 武蔵野鉄道と合併
し、西武農業鉄道となる。
せいぶのうぎょうてつどう
(翌21年西武鉄道と社名を改める。)

【川越鉄道】

さいたまけんせいふ ちいき はし てつどう
(埼玉県西部の地域で、初めてできた鉄道)

めいじ ねん (明治25年 (1892)) 創立
めいじ ねん (明治27年 (1894)) 開業

たいしょう ねん (大正9年 (1920))
むさしすいでん がっぺい
武蔵水電に合併される。

この後のことは、左の
ページの「川越馬車鉄
道」の所を見てね!



さいたまけん せいぶちいき かわごえ こうぶてつどう ジェーアールちゅうおうせん こくぶんじえき むす とうきょう
埼玉県の西部地域の川越と甲武鉄道(現 JR 中央線)の国分寺駅を結び、そこから東京の
都心へ連絡することを目的としてつくられた鉄道。

めいじ ねん (明治23年)に甲武鉄道・国分寺駅から分岐し、所沢から川越までの川越鉄道建設計画がつく
られ、建設のための仮事務所は所沢に置かれました。しかし、川越鉄道と呼びながら川越町か
らの発起人はおらず、これは古くから川越の商人と深くつながっていた新河岸川舟運との競
合が問題視されていたためといわれています。

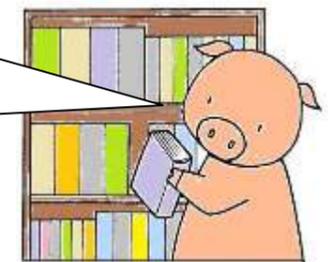
めいじ ねん (明治26年)に川越鉄道の工事は始まりましたが、さまざまな問題もありました。

いるまがわ げんさやまし かきょう じゅうみん ほんたい こえ やなせかわ けんせつ
入間川(現狭山市)では架橋をめぐる、住民の反対の声があがりました。柳瀬川では、建設
予定の橋の長さが充分でなく、増水時に洪水を引き起こす原因になると激しい反対運動が巻き
起こりました。

こうしたいくつもの対立や工事建設をめぐる問題に直面しながらも、明治27年12月に
国分寺—久米川(現 東村山)間が、翌28年に久米川—川越間が開通しました。併せて所沢停
車場(現 所沢駅)がつけられました。

えいぎょう こうぶてつどう いたく かいぎょう めいじ ねん (明治39年 (1906))に甲武鉄道が
国有化されると独立して営業されるようになりました。大正時代になって東上鉄道(大正
3年開業)や武蔵野鉄道(大正4年開業)といった、埼玉県西部と都心を直接結ぶ鉄道が相
次いでつくられると、国分寺回りで都心へ向かう川越鉄道は不利になりました。そのため、武蔵野
鉄道に対抗するために鉄道の電化を計画して、大正9年(1920)に、川越の電力供給会社
「武蔵水電」と合併しました。

その後、武蔵野鉄道に対抗するため、東村山駅から
高田馬場駅への路線をつくりました。所沢駅では、
武蔵野鉄道と川越鉄道での、乗客の奪い合いがあり
ました。



路線の歴史

めいじ ねんかいぎょう
明治28年開業

あひなせん たいしょう ねん
《安比奈線》大正14年(1925年)
いるまがわ じゃり はこ
入間川の砂利を運ぶためにつくられた路線

しょうわ ねん
昭和5年(1930年) 東村山-村山貯水池前間開通
しょうわ ねん きゅうし しょうわ ねん
昭和19年に休止、昭和23年に再開、昭和25年、
せいぶせん えき せっち とこな 村山貯水池前 駅は、廃止
されました。

はいじません こだいら はいじま
《拝島線》(小平-拝島)
ひたちこうくうきたちかわこうじょうせんようてつどう
「日立航空機立川工場専用鉄道」
おがわ たまがわじょうすいかん しょうわ ねん
小川-玉川上水間を、昭和25年
(1950年)に、西武鉄道が譲り
う しょうすいせん たまがわ
受けて、《上水線》とした。多摩川
でとれる砂利の運搬や、沿線の開発
を目的としてつくられた。

しょうわ ねん
昭和5年~
ねん あいだ
11年の間
えんちよう
に、延長さ
れました。

はいじま
拝島

たまがわじょうすい
玉川上水

しょうわ ねんかいぎょう
昭和43年開業

しょうわ ねん
昭和25年に
譲り受ける。

たまたつどう たいまがわせん
多摩鉄道 《多摩川線》
めいじ ねん ねん そうりつ
明治43年(1910年)創立
たいしょう ねん かいぎょう
大正6年(1917年)開業
しょうわ ねん ねん せいぶてつどう きゅう がっぺい
昭和2年(1927年)西武鉄道(旧)に合併。
たまがわ じゃり はこ りよきやくゆうそう
多摩川でとれる砂利を運ぶことと、旅客輸送
を目的としてつくられた鉄道会社。

めいじ ねんかいぎょう
明治27年開業

これまさ
是政

たいしょう ねん
大正11年

きょうていじょうまえ
競艇場前

たいしょう ねん
大正6年

たいしょう ねん
大正8年

こうぶてつどう
甲武鉄道
ちゅうおうせん
JR中央線

むさしさいかい
武蔵境

きたたま
北多摩

こくぶんじ
国分寺

おがわ
小川

しょうわ ねんかいぎょう
昭和37年開業

せいぶゆうえんち
西武遊園地

むらやまちよすいちまえ
村山貯水池前

せいぶせん
西武園

ひがしむらやま
東村山

ところざわ
所沢

くめがわ
久米川

みなみおおつか
南大塚

ほんかわごえ
本川越

とうきょうと さいたまけん さいかい
東京都と埼玉県の境を
ながれるやなせかわ てつきょうこうじ
流れる柳瀬川の鉄橋工事が
おく めいじ ぶ
遅れたため、明治27年の部
ぶんかいぎょう とき お かり
分開業の時に置かれた仮の
えき よくねんかわごえ ぜんせんかいつう
駅。翌年川越まで全線開通す
ると廃止されました。

むさしみずでん かわごえてつどう ひがしむらやま
武蔵水電は、川越鉄道の東村山
えき せいぶきどう おぎくほえき
駅と、西武軌道の荻窪駅をつな
ぎ、川越から新宿に直通するこ
とを目的としていました。
もくてき
しかし、現在のルートで高田馬場
まで鉄道がつけられたため、計画
ちゅうし
は中止になりました。

しょうわ ねんかいつう
昭和2年開通。
むかし むらやません
昔は《村山線》
といました。

さいしょ いま ちが
最初は今とは違
う場所で開業。
よくとしげんざいち
翌年現在地へ。

めいじ ねん ぜんせん
明治28年に全線
かいぎょう とき えき
開業した時の駅
は、
かわごえ ほんかわごえ
川越(現本川越)
いるまがわ さやまし
入間川(現狭山市)
いりそ
入曾
ところざわ
所沢
おがわ
小川
こくぶんじ
国分寺
にち おうふく
1日5往復

たかだのぼば
高田馬場
しょうわ ねん
昭和27
ねんかいつう
年開通
せいぶしんじゆく
西武新宿

しょうわ ねん
昭和24年に、
こだいらえき とうごう
小平駅に統合
されました。

たまたこてつどう たいまこせん
多摩湖鉄道 《多摩湖線》
しょうわ ねん ねん そうりつ かいぎょう
昭和3年(1928年)創立、開業
しょうわ ねん ねん むさしのてつどう がっぺい
昭和15年(1940年)武蔵野鉄道と合併
じゅうたくち そうせい はんばい おこな
住宅地の造成、販売を行っていた「箱根
とちかぶ じじょう ひと こだいらほうめん
土地株」の事業の一つとして、小平方面へ
つうきん つうがく たまこ こうらくきやく みこ
の通勤・通学や、多摩湖への行楽客を見込
んでつくられた。

さいしょ しんじゆくえき ひがしぐち の い
最初は「新宿駅」東口に乗り入れる
けいかく ちゅうし
計画でしたが、中止になりました。
とき かり えき せいぶ
その時につくられた仮の駅が「西武
しんじゆく えき
新宿」駅になりました。

おぎくほ
荻窪

しんじゆく
新宿

せいぶきどう おぎくほせん
西武軌道 《荻久保線》
たいしょう ねん ねん かいぎょう
大正10年(1921年)開業。
おな とし むさしみずでん がっぺい
同じ年に武蔵水電に合併される。
しょうわ ねん とうきょうのりあいじどうしゃ けいえいいたく
昭和10年、「東京乗合自動車」に経営委託する。
しょうわ ねん とうきょうと ゆず わた とでんすぎなみせん
昭和26年 東京都へ譲り渡し「都電杉並線」となる。
しょうわ ねん とでんすぎなみせん はいし
昭和38年 「都電杉並線」廃止。

げんざい ちかてつ まるのうち
現在の地下鉄丸ノ内
せん しんじゆく おぎくほかん
線(新宿-荻窪間)
おな
と同じルートです。



どんなところ？ぼくのまち

No. 38 身近な鉄道 今・昔 (5)

その他の私鉄



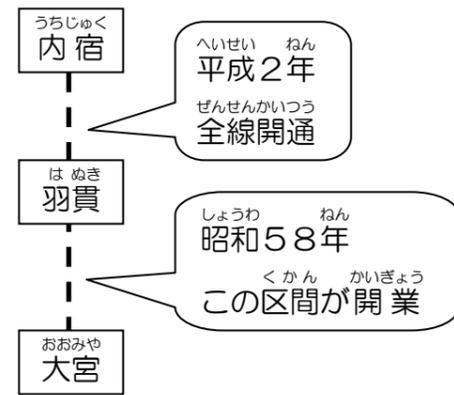
いるましりつとしょかん
—入間市立図書館—
きょうりょく いるましはくぶつかん
協力・入間市博物館



埼玉新都市交通伊奈線

とうほく じょうえつしんかんせん かいつう ともな さいたまけん えんせん
東北・上越新幹線の開通に伴い、埼玉県と沿線
の市町村、JR東日本などが出資して、つくられた
第3セクターの鉄道会社。

コンクリートの軌道の上をゴムタイヤの車輛が
走る「案内軌条式鉄道」で愛称は「ニューシャトル」。



埼玉の幻の私鉄

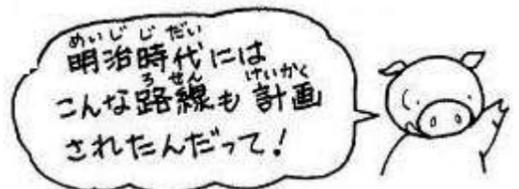
てつどう ちほう
鉄道によって、地方と
東京が結ばれると、
沿線の町は活気付き、
地元の産業も大きく
発展しました。

こうしたなか、県内の
各地で私設の鉄道建設
が計画されましたが、
実現したものはあまり
ありませんでした。

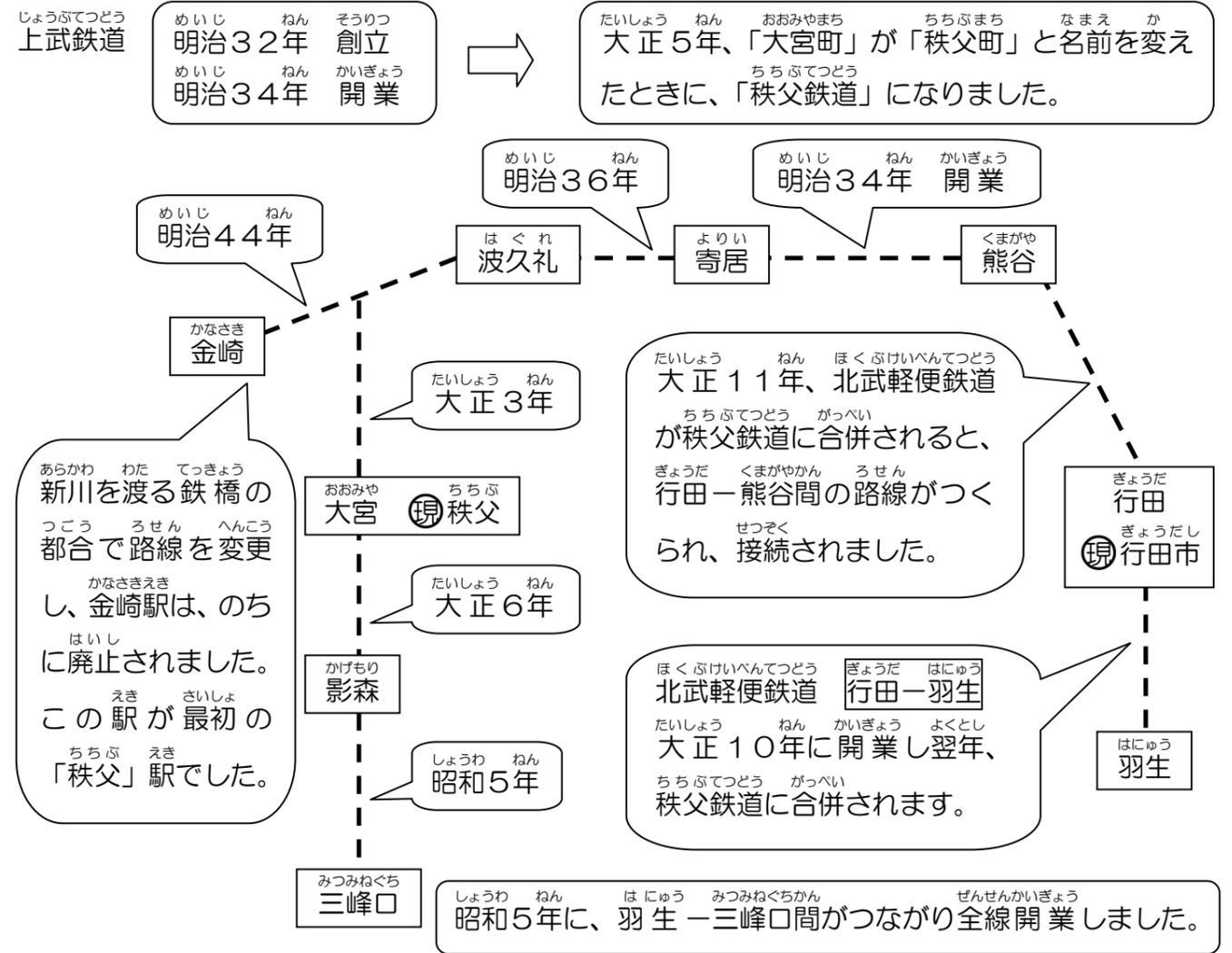
明治20年代末期川越周辺地域における鉄道建設計画

鉄道会社名	創立申請年月日	鉄 道 線 路
成川鉄道株式会社	明治29年5月25日	川越—大宮—越ヶ谷—流山—木下—安食—成田
玉川鉄道株式会社	明治29年6月15日	川越—坂戸—今宿—玉川、今宿—越生
佐川鉄道株式会社	明治29年7月16日	川越—大宮—大門—越ヶ谷—吉川—流山—松戸—三咲—日井—佐倉
川船鉄道株式会社	明治29年7月29日	川越—大宮—越ヶ谷—流山—輪橋
金子鉄道株式会社	明治29年8月20日	金子—東金子—豊岡—入間川
飯能鉄道株式会社	明治29年8月20日	飯能—精明—元加治—豊岡—入間川
中武鉄道株式会社	明治29年8月20日	大宮—所沢—拝島—八王子
八王子鉄道株式会社	明治29年8月25日	粕壁—大宮—与野—志木—大和田—所沢—狭山—砂川—福島—八王子
宮越鉄道株式会社	明治29年9月4日	大宮—川越—越生
越生鉄道株式会社	明治29年11月20日	川越—坂戸—越生

(備考)「埼玉県行政文書」より作成。



秩父鉄道 (昔は「上武鉄道」といいました。)



No.34・35・36・37・38で参考にした資料

- 「埼玉大百科事典」埼玉新聞社 編・刊 ※
- 「さいたまの鉄道」埼玉県立博物館 編 さきたま出版会刊 ※
- 「埼玉の鉄道」老川慶喜 著 埼玉新聞社 刊 ※
- 「埼玉の鉄道ここが不便」八木橋吉則 著 望月印刷 刊
- 「西武池袋線歴史散歩」川目竜史・菊地由紀 著 鷹書店刊
- 「西武新宿線歴史散歩」和泉たか子 著 鷹書店刊
- 「日本の私鉄⑩東武」花上嘉成・諸河久 著 保育社 刊 (カラーブック)
- 「日本の私鉄⑫西武」小林尚智・諸河久 著 保育社 刊 (カラーブック)
- 「東飯能駅 温故知新」東飯能駅記念誌刊行委員会 編・刊
- 「秩父鉄道の100年」郷土出版社 編・刊
- 「入間市史」・「狭山市史」・「飯能市史」・「所沢市史」・「新編ところざわ史話」・「入間市の文化財」・「町村長物語」

一部、本によって異なる記述もありましたが、その場合は※印のついた本の記述をもとにしてのせました。

とうぶてつどう 東武鉄道

めいじ ねん そりつ
明治30年 創立
めいじ ねん かいぎょう
明治32年 開業

ここには、埼玉県と関係がある路線を載せました。
このほかにも、「宇都宮線」「鬼怒川線」「桐生線」「佐野線」「小泉線」「亀戸線」などがあります。
【 】の中は、合併前の会社名。

とうじょうせん とうじょうほんせん 《東上線（東上本線）》

とうじょうてつどう 【東上鉄道】
めいじ ねん そりつ たいしやう ねん かいぎょう
明治41年創立、大正3年開業
ほんしゃ とうぶてつどうほんしゃ とうきやうこうじまち
本社は、東武鉄道本社（東京 麹町）
とうきやう ぐんまほうめん むす けいかく はじ
東京と群馬方面を結び計画の始めとし
いけぶくろ かわごえかん かいぎょう
て池袋—川越間で開業。
たいしやう ねん とうぶてつどう がっぺい
大正9年に、東武鉄道に合併。
たいしやう ねん よりい かいぎょう
大正14年に寄居まで開業。
こ しょうわ ねん よりい たかさきかん はち
その後、昭和9年に、寄居—高崎間に八
こうせん
高線がつけられました。



たいしやう ねん
大正14年
げんざい ろせん
現在の路線
となる。

たいしやう ねん がつ
大正12年11月

たいしやう ねん がつ
大正12年10月

たいしやう ねん
大正5年

げんざい かわごえしえき
現在の川越市駅
かすみがせきえき あいだ
と霞ヶ関駅の間
にありました。
たいしやう ねん はいし
大正5年に廃止



たいしやう ねん かいぎょう
大正3年開業

しょうわ ねん かもつえいぎょう はじ
昭和7年、貨物営業を始める。

おごせ
越生

もりと
森戸

しょうわ ねん はちこうせん
昭和9年、八高線
おごせえき かいぎょう あ
越生駅開業に合
わせて開通

おごせせん 《越生線》

おごせてつどう 【越生鉄道】
しょうわ ねん そりつ しょうわ ねん そりつ
昭和3年創立、昭和7年開業
ほんしゃ とうぶてつどうない お
本社は、東武鉄道内に置かれ、
こまがわ じゃりゆそう おも もくてき
高麗川の砂利輸送を主な目的と
してつくれた。
しょうわ ねん とうぶてつどう がっぺい
昭和18年 東武鉄道に合併

くまがや ねん
熊谷 妻沼

くまがやせん 《熊谷線》
しょうわ ねん ぐんじもくてき
昭和18年、軍事的
でつくれた路線。
しょうわ ねん はいし
昭和58年に廃止。

めいじ ねん
明治32年
さいしょ かいぎょう
最初に開業

しょうわ ねん がつ
昭和4年 12月

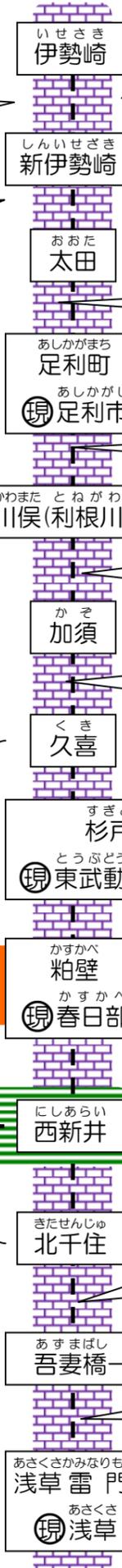
しょうわ ねん がつ
昭和4年 11月

おおみや ねん
大宮 大宮

かりえき
仮駅
のち はいし
後に廃止

だいしまえ
大師前

だいしせん 《大師線》
しょうわ ねん かいぎょう
昭和7年開通
とうじょうせん せつぞく
東上線との接続を
めざ
目指したが、ここま
でで断念しました。



めいじ ねん
明治42年

めいじ ねん
明治40年

めいじ ねん
明治36年

めいじ ねん
明治35年

めいじ ねん
明治44年

めいじ ねん
明治35年

しょうわ ねん
昭和6年

いせさきせん 《伊勢崎線》
とうぶてつどう さいしょ ろせん
東武鉄道の最初の路線。
りょうもう いま ぐんまけん とちぎけん きぎやう せんいぎやう
両毛（今の群馬県・栃木県）の機業（繊維業）
ちたい とうきやう むす もくてき ろせん
地帯と東京を結び目的でつくれた路線。

しょうわ ねん がつ
昭和4年10月

しょうわ ねん がつ
昭和4年7月

にっこうせん 《日光線》
にっこう じんしゃ おてら まい ひと
日光の神社・お寺へ、お参りする人を
はこび、また奥日光・鬼怒川の温泉地を
かんこう もくてき
観光する目的でつくれた。

めいじ ねん
明治44年

たいしやう ねん
大正12年

のだせん 《野田線》
ちばけんえいけいべんてつどう
【千葉県営軽便鉄道】
たいしやう ねん ほくそうてつどう ゆす う
大正12年【北総鉄道】が譲り受
ける。（野田町—柏間）
のだ しょうゆ ゆそう もくてき
野田の醤油を輸送することを目的
につくれた。
しょうわ ねん そうぶてつどう なまえ あらた
昭和4年【総武鉄道】と名前を改
める。
しょうわ ねん とうぶてつどう がっぺい
昭和19年 東武鉄道に合併

のだまち ねん
野田町 野田市

かしわ
柏

ふなばし
船橋

しょうわ ねん
昭和5年までに
開通して、全線
かいぎょう
開通

どんなところ？ぼくのまち

No. 39 入間市に残る方言

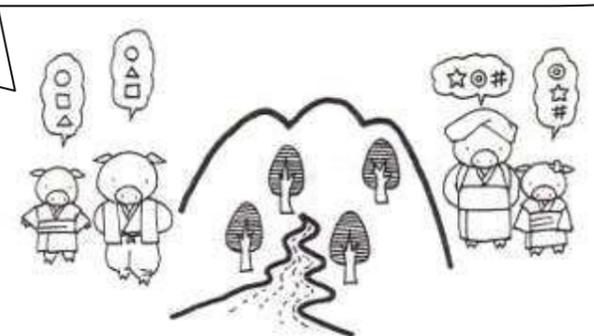


いるましりつとしょかん
—入間市立図書館—
きょうりやく いる ましはくぶつかん
協 力・入間市博物館

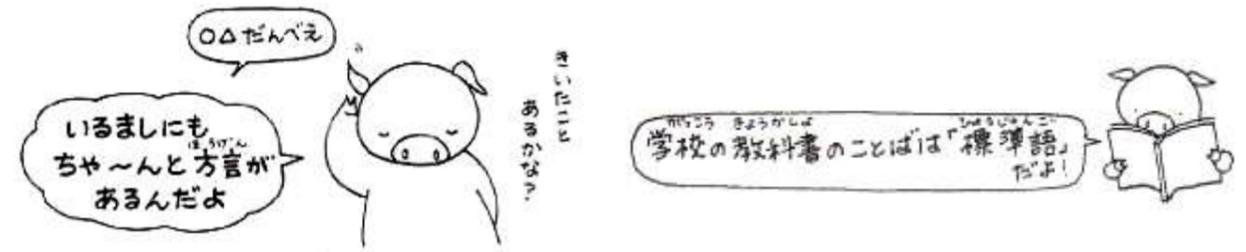


とは？…それぞれの土地に住んでいる人々が、長い年月の間に生み出した「その土地に独特の言葉」です。

山や川などに遮られて人々の行き来があまりなかったりすると、だんだん言葉が違ってきて「方言」が生まれます。反対に、人々の行き来が盛んなところでは、同じ言葉を使うようになります。



このように、昔は日本各地でいろいろな方言を使っていましたが、明治時代になって、江戸幕府がつくった藩が廃止されると日本全国どこでも通じる言葉が必要だと考えられるようになりました。そこで、東京にあった「方言」の一つをもとにして、日本全国どこでも使える「標準語」がつけられたのです。けれどもそれによって、各地の暮らしに根ざした、「標準語」では表せない豊かな意味や表現をもった「方言」がだんだん失われていくことにもなりました。そこで、今では「方言」のよさを認めて残していこうという動きが高まっています。



いるまし のこ ほうげん かんとうべん
入間市に残る方言は『関東弁』



入間市に独特の方言というより、日本各地にある方言を大きく分けた中の『関東弁』に含まれるものです。『関東弁』の大きな特徴は、「・・・べえ」という語尾が付く『べえべえことば』であることです。
（『べえべえことば』は関東地方から東北地方まで、東日本の地域で広く使われています。）



この「...べえ」は、むかしむかし、京都や奈良に都があった時代に、つかわれていた「...べし」という助動詞が変化したものだとかんがえられています。それが都からとおくはなれた東日本地方に今日まで、東日本の方言を代表する言い方となっているのです。

参考にした資料

- 「入間市史（民俗文化財編）」「日本語方言辞書」（藤原与一著 東京堂出版）
- 「大辞林」（松村明編 三省堂）「埼玉県方言辞典」（手島良編著 桜楓社）
- 「ことばの探検④方言と標準語 方言はまほうのことば」（彦坂佳宣著 アリス館）
- 「日本国語大辞典」（日本大辞典刊行会編 小学館）

いるまし き ほうげん
入間市で聞くことができた方言

ひょうじゆんご ことば
標準語らしい言葉もありますが、

- いちおうほうげん おも
・一応方言と思われるもの、
- ちほう おお つか
・この地方に多く使われたもの、をあげました。(左が「標準語」、右が「方言」だよ。)



①ひとつの音が変化したもの

「い」が「え」に変化したもの

- 「入れる」→「えれる」
- 「行く」→「えく」

「な」が「あ」に変化したもの

- 「何よ」→「あによ」
- 「何せ」→「あにせ」

「た」が「て」に変化したもの

- 「大切」→「ていせつ」
- 「台所」→「でえどころ」

「み」が「め」に変化したもの

- 「見つめる」→「めつける」
- 「見える」→「めえる」

「か」が「け」に変化したもの

- 「帰る」→「けえる」
- 「買いもどす」→「けえもどす」

「さ」が「せ」に変化したもの

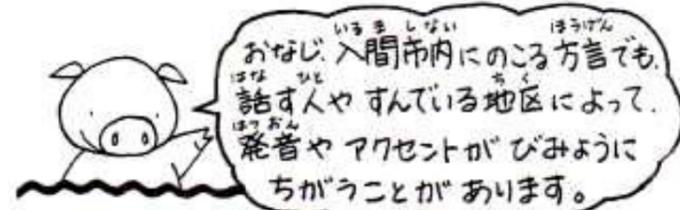
- 「細工」→「せいく」

「ま」が「め」に変化したもの

- 「甘え」→「あめえ」
- 「前」→「めえ」

「し」と「ひ」がおたがいに変化したもの

- 「敷く」→「ひく」
- 「人」→「しと」
- 「ひゃっこい」→「しゃっこい」



②ことばのおしまいが変化したもの

- 「穴」→「あなっこ」
- 「晩」→「ばんげ」
- 「虫」→「むしっけら」

③「べえ」のつくもの

- 「行こう」→「行くべえ」
- 「帰ろう」→「けえるべえ」
- 「食おう」→「食うべえ」
- 「…だろう」→「…だんべえ」
- 「やろう」→「やんべえ」

④「ん」をいれるもの

- 「くれ」→「くんな」
- 「そのつぎ」→「そんつぎ」

⑤強めることば

- 「うそ」→「うそっぱち」
- 「すこし」→「ちっとんべえ」
- 「おどろく」→「おったまげる」

『入間ことば』

ここでいう『入間』とは、古くからの地名の『入間』で、いまの狭山市を中心とした入間川の流域地域のこと。

昔、武蔵国の入間地方には『入間言葉』と呼ばれる「さかさことば」の方言があったといい伝えられていて、『入間川』という題名の狂言のなかでも使われています。

それは、「花よ、散るな」と言いたいときにわざわざ逆に「花よ、散れ」と言うように反対の意味の言葉を使ったり、「花の雲」と言うところを「雲の花」と言葉の順番を逆にしたりする「さかさことば」だということです。

この『入間ことば』は、また『入間様』とか『入間川様』ともいわれ、『入間ことば』を使う人のことを『入間者』といったそうです。

(「日本国語大辞典」日本大辞典刊行会 小学館 ・「大辞林」松村明 編 三省堂)



どんなところ？ぼくのまち

No. 40 入間市の言い伝え

(『入間市史 民俗文化財編』より)



いるましりつとしょかん
—入間市立図書館—
きょうりょく いるましほくぶつかん
協力・入間市博物館



こんかい いるましない くちづた
今回は、入間市内で「口伝え」
つた でんせつ
で伝えられてきた伝説や
でんしょう いるましし ほん
伝承を『入間市史』という本
のなかから、しょうかい
ご紹介します。

ほん しょもつ か いるましない
たとえ、本や書物に書かれていなくても、入間市内
には、いろいろな「言い伝え」があります。
それらはだいたい おとな こ くちづた つた
それらは代々、大人から子どもへと口伝えで伝えら
れてきたものです。
い つた ないよう ほんとう
こういった「言い伝え」の内容が、本当のことであ
るかどうかは分かりません。けれども、なが ねんげつ
長い年月、
ひとひと あいだ かつ
人々の間でどうして語りつがれてきたのか、その
りゆう かつ ひとひと きも かんが
理由や、語りついできた人々の気持ちを考えてみる
と、面白いかもしれません。

ほうげん い つた
※No.39「方言」とNo.40「言い伝え」に
しょうかい いがい
ついては、ご紹介したもの以外にもいろいろ
あります。
きょうみ ひと いるましし み
興味がある人は、『入間市史』を見てください。

1. 昔話

がっせん じょうど すずめ したき すずめ
「さるかに合戦」、「ネズミ浄土」、「雀こじょろ」(舌切り雀)など。
はなし いるましない にほんぜんこく ほか ちいき い つた ゆうめい
これらのお話は、入間市内だけではなく、日本全国の、他の地域でも言い伝えられている有名
はなし
なお話です。
はなし ないよう し ひと いるましし みんなくぶんかざいへん よ
お話の内容を知りたい人は、『入間市史 民俗文化財編』を読んでね！

2. 伝説

①地名のゆらい

『根通り』

おうぎまちや おうめ む かすみ
(扇町屋から青梅に向かう霞
川に沿った道のこと。)
か じ きゅうりょう ね
加治丘陵のふもと(根の
ところ とお みち
所)を通る道だったので、この
なまえ つ
名前が付いたという。

『藤沢』

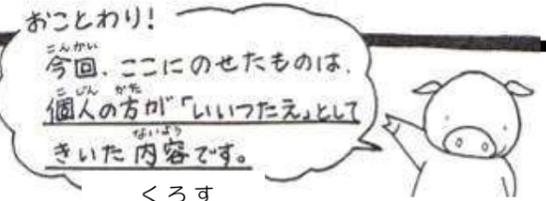
むかし げんじ おちむしゃ ふじさわじろうきよちか
昔、源氏の落武者で藤沢二郎清親という
じんぶつ ひと な
人物がいたので、その人の名にちなんでこ
へんいったい ふじさわ
の辺一帯を「藤沢」という。
しょくぶつ ふじ は
植物の「藤」が生えていたことによる、
せつ ほう ゆうりょく
という説の方が有力とされています。

『善蔵新田』

え としだい きょうほう かすやぜんぞう
江戸時代(享保のころ)に、粕谷善蔵と
ひと しんでんかいほつ じぶん いえ はたら
いう人が新田開発をして、自分の家で働
ひと とち あた
いていた人たちに土地を与えた。
とち ぜんぞう なまえ ぜんぞう
その土地に、善蔵の名前をとって「善蔵
しんでん つ
新田」と付けたことによるという。

『宮前町』

みやまえちょう みや かすがじんしゃ みやまえ
宮前町にはお宮(春日神社)があるので「宮前」といわれ、
せんぜん ふきん ひとひと よ
戦前から付近の人々はそのように呼んでいた。
しょうわ ねん じゅうきよひょうじ あたら せいしき ちめい
昭和41年に住居表示を新しくしたときに、正式な地名となった。



おことわり!
こんかい
今回、ここにのせたものは、
こじん かつ
個人の方が「いいつたえ」として
さいよう
書いた内容です。

『黒須』

いるまがわ す う くる
①入間川の洲に、鶺鴒がたくさんいたため黒く
み
見えた。
さてつ と ところ くる み
②砂鉄が採れた所が黒く見えた。
す つち なが くる み
③洲に土が流れてきたため黒く見えた。
いじょう くるす よ
以上のことから「黒須」と呼ばれたという。

『坊』

むかし さかのうえのたむらまる おおもり かのん
昔、坂上田村麻呂が大森の観音さま
まにお参りしたときに、この辺りを
まい あた
まいて「元狭山」、「坊」、「新田」と名
とお もとさやま ほう しんでん な
づ
づけたことによるという。

坂上田村麻呂とは？

へいあんじだい ぶしょう ちょうてい めい
平安時代の武将。朝廷に命じられ
おうしゅう いま とうほくちほう えみし
て奥州(今の東北地方)の「蝦夷」
せいりょく ちょうてい しはい か
という勢力を朝廷の支配下におさ
めたことで、最初に征夷大將軍の位
あた じんぶつ
を与えられた人物です。



②歴史上の人物にまつわる話

くつわ虫の鳴き声は、その名のとおり、馬が轡を噛む音に、似ているそうです。

金子十郎とくつわ虫（抄）

金子十郎家忠がすむ金子郷には、くつわ虫がたくさんいた。ある日の夜、くつわ虫の虫の音がいやに大きかったので、家来が「これは、もしや敵のくつわの音かもしれない」と家忠に言ったが、家忠は虫の音と信じて疑わなかった。ところがその音は本当に敵の轡の音で、家忠は散々な目にあった。

またある時は、家忠が敵の追手から逃げて草むらに隠れていると、今まで鳴いていたくつわ虫が鳴きやんでしまった。そのため追手は辺りが静かすぎるので不思議に思い、よく調べたところ、家忠たちは見つかってしまった。

このように、家忠はくつわ虫のためにひどい目にあわされたので、戦のじゃまになると思い、金子郷のくつわ虫を根絶やしにしてしまった。それ以来、金子郷では、くつわ虫の鳴き声が聞かれなくなったという。

新田義貞の涙

昔、下藤沢の熊野神社は現在の場所より、もっと奥にあった。（藤沢小学校の南側の崖の上、「明ノ沢」という地名の所で、現在は雑木林やマンションになっています。）その境内のカシの木の根元から、一年中ポタポタと水が垂れていて、湧水が流れ出ていた。それを「義貞の涙」と呼んでいた。

昔は「飛竜社（飛竜神社）」といい、昔の神社の場所には現在石碑があります。湧水は昭和50年代の初めごろまでは出ていたそうです。

十郎清水

東金子地区、牛沢の竹やぶに清水があった。この清水を金子十郎家忠が戦のときに使ったので「十郎清水」と名が付いたという。

金子十郎家忠とは？

今からおよそ850年ほど前の武蔵武士の一人で、金子付近に住んでいました。

新田義貞とは？

鎌倉時代末期の武将。鎌倉幕府を滅ぼしたが南朝方に付き、足利尊氏に敗れた。扇町屋の愛宕神社には義貞の子、義興の首塚があります。

③神さま・仏さまにまつわる話

高倉の不動さま

高倉の氷川神社の境内の清滝不動（清滝神社）には、こんな由来が伝わっている。関ヶ原の戦いの時、大坂方（豊臣方）の2人の兄弟の武者が江戸に敵方（徳川方）のようすを探りにきた。ところが運悪く徳川方に見つかってしまい、氷川神社の近くの竹藪の中に逃げ込んで危ないところを助かった。それで*その場所に兄弟の子孫が不動様をまつたという。

長徳寺の薬師さま

昔、飯能の阿須から薬師様を背負ってきた者がいた。野田まで来たところで薬師様が重くて背負いきれなくなり、野田の民家に置いていってしまった。そのあと、その家の人が長徳寺へ持っていき、お寺でおまつりすることになったという。

*現在は国道16号（武蔵バイパス）がつけられたために、もとの場所から移されています。

3. 世間話



円照寺の池の七不思議

野田の円照寺の境内の弁天池には次のような不思議な話が伝えられている。

- ①池の水がどんどん流れても、水が枯れない。
②鉱泉の兆（火災や疫病が流行するときには池の水の色が変わって知らせる。）
③水が濁れば3日のうちに雨が降る。
④カエルが鳴くことがない。
⑤片目のウナギが棲む。
⑥雑草が生えることがない。
⑦金色のタニシがいる。

桂川のカップ

桂川（霞川）の深い所にはカップがいて、子どもが引き込まれてしまうので、遊びに行ってはいけないといわれていたという。

ここに載せたものはすべて「入間市史（民俗文化財編）」によりました。その他、次のような本にも同じ内容のことが載っています。

- ・「さやまのむかしばなし」（西沢順造（文）関東図書刊）
・「埼玉の神社」（埼玉県神社庁編・刊）
・「埼玉県神社誌」